

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

社会福祉運営事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。

効果 社会福祉の増進に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器賃借料や保守に係る経費を執行した。
- ・社会福祉法人の設立、定款変更等の認可事務を行った。
- ・社会福祉法人の指導監査等を実施した。
- ・ポスターコンテストなどの社会を明るくする運動事業を保護司会とともに行った。
- ・更生保護の活動に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,047	32,818	32,088		730
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 福祉総合システム等消耗品費			736	461
印刷製本費			28	0
13節 福祉総合システムソフトウェア保守委託料			8,633	8,633
社会福祉法人監査支援業務委託料			1,485	1,155
緊急援護貸付事業委託料			380	211
14節 福祉総合システム機器賃借料			21,268	21,267
会場使用料			156	0
19節 社会資源検索システム運用経費負担金			181	181
保護司会補助金			180	180

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

社会福祉協議会支援事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 社会福祉協議会の財政基盤を安定させることにより、地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,330	52,330	52,330		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市社会福祉協議会補助金

52,330

52,330

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

共生社会推進事業

【

地域共生課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 共生社会の構築に向けた施策を推進するため。

効果 社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民が安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会を実現する。

【 事業の内容 】

- ・福祉総合窓口(6月29日からは「くらしと福祉の相談窓口」)を運営した。
- ・共生社会に関する講演会等を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見送った。
- ・地域共生社会推進全国サミットを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度に延期した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,019	350	315		35
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	講演会等講師謝礼等報償費		406	0
11節	消耗品費		49	265
13節	ベビーシッター派遣委託料		128	0
19節	地域共生社会推進全国サミット実行委員会負担金		23,386	0
	地域共生政策自治体連携機構負担金		50	50

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

民生委員児童委員活動推進事業

【

生活福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,741	35,334	34,926		408
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 民生総務嘱託員報酬 20人			3,672	3,672
民生嘱託員報酬 193人			30,111	28,438
民生委員推薦会報酬			126	0
9節 民生委員推薦会等費用弁償			15	0
19節 民生委員児童委員協議会補助金			2,817	2,816
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				14,203

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民

意図 戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 戦没者の追悼式典は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施しなかった。
- ・ 鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・ 本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。
- ・ 戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,952	3,234	2,787		447
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節 戦没者追悼式参列者記念品等		199	32	
11節 消耗品費		42	3	
印刷製本費		11	0	
12節 筆耕翻訳料		3	1	
13節 戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料		66	0	
戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料		238	0	
14節 戦没者追悼式会場使用料		160	0	
19節 鎌倉市遺族会補助金		158	158	
鎌倉市被爆者の会補助金		75	75	
20節 被爆者援護手当 108人		3,000	2,518	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				157

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

行旅病人死亡人援護事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 行旅病人の援護を行った。
- ・ 行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等を行った。
- ・ 「墓地、埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,014	2,014	1,419		595
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	行旅死亡人遺骨保管謝礼		90	90
12節	行旅死亡人官報公告掲載料		37	16
13節	行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料		539	253
	墓地埋葬法による遺体取扱委託料		1,348	1,060
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			269

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

中国残留邦人等支援事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【 事業の内容 】

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない者などに対する生活支援給付金は、該当がなかったため支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
20節 生活支援扶助費		10	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

生活困窮者自立支援事業

【

生活福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民

意図 自立の促進を図るため。

効果 相談及び住居確保給付金の支援を受けることにより、自立を目指すことができる。

【 事業の内容 】

- ・生活困窮者の自立の促進を図るため、就労の支援その他の自立に関する問題について、必要な支援を行った。
- ・再就職等のため必要と認められる者に対し、住居確保給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,307	163,393	159,795		3,598
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	生活困窮者食料支援における住まいの相談会報償費		0	75
11節	消耗品費		172	63
	印刷製本費		0	13
13節	生活困窮者自立相談支援事業委託料		17,537	23,797
	学習・生活支援事業委託料		12,053	12,053
	家計改善支援事業委託料		11,360	11,359
	就労準備支援事業委託料		12,627	12,627
	一時生活支援事業委託料		1,802	1,802
19節	生活困窮者等への食料支援負担金		356	1,356
20節	住居確保給付金		400	96,650
<主な特定財源>				
	・国県支出金			125,663

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

ひきこもり対策推進事業

【

生活福祉課

】

※重点事業(事業CD:4-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 ひきこもりの状態にある方やその家族

意図 社会参加や自立の促進を図るため。

効果 ひきこもりの状態にある方やその家族の不安が解消され、社会参加や自立が促進される。

【 事業の内容 】

- ・ ひきこもりの状態にある方やその家族に対し相談支援を行った。

- ・ ひきこもりに関する講演会等を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
260	260	30		230
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 講演会講師謝礼等			200	30
11節 印刷製本費			60	0
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				15

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

介護保険事業特別会計繰出金

【

介護保険課

】

【 事業の内容 】

- ・ 介護保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,635,300	2,658,391	2,658,391		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

2,635,300 2,658,391

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

134,163

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

国保組合支援事業

【

保険年金課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人当たりに70円を補助金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67	67	66		1
<支出内訳>		当初予算額		
		支出済額		
19節	県建設連合国保組合補助金	43	43	
	県建設業国保組合補助金	24	23	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

国民健康保険事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

- ・ 国民健康保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,583,722	1,498,225	1,498,225		0

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
28節 繰出金	1,583,722	1,498,225

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

504,291

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎市民自治 ○市民自治

地域福祉推進事業

福祉総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 市民自治

施策の方針 市民自治

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 地域福祉団体、地域住民の生活課題に対する取組への支援等を行った。
- ・ 地域住民による地域課題の把握と課題解決への取組を進めるため、地域アセスメント活動を中心とした地域福祉推進活動への支援を行った。
- ・ 地域福祉計画の進行管理及び地域福祉計画点訳版・CD版の作成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,519	4,756	4,234		522
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	地域福祉計画推進委員会委員報酬 9人		408	92
9節	地域連携推進担当出張旅費		116	0
11節	消耗品費		90	0
13節	地域福祉計画点訳版・CD版作成業務委託料		1,305	542
19節	地域福祉推進活動支援補助金		3,600	3,600

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・地域共生課・生活福祉課(援護担当)・

高齢者いきいき課(いきいき福祉担当)・障害福祉課・保険年金課(年金担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	473,767	407,019
・ 2節 給料 一般職	217,698	183,011
一般職職員 53人		
短時間勤務職員 5人		
・ 3節 職員手当等	177,179	156,509
扶養手当	4,155	3,536
地域手当	34,469	29,171
通勤手当	5,238	5,181
超過勤務手当	16,021	22,089
休日給	101	150
管理職手当	8,456	7,584
特殊勤務手当	767	316
期末勤勉手当	96,163	79,907
住居手当	10,169	7,325
管理職員特別勤務手当	80	0
児童手当	1,560	1,250
・ 4節 共済費	78,890	67,499
市町村職員共済組合負担金	76,593	64,987
社会保険料	2,115	2,339
雇用保険料	182	173

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課・高齢者いきいき課・障害福祉課・保険年金課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		106,370	81,489
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	80,887	64,087
	会計年度事務補助職員 22人		
	相談支援専門員 2人		
	発達支援専門員 11人		
	発達支援員 1人		
	更生雇用職員 1人		
	ひきこもり支援員		
	障害支援区分認定調査員 3人		
	手話通訳支援員 2人		
	障害者就業支援員 3人		
	ワークステーション会計年度事務職員 8人		
・ 3節 職員手当等		11,147	8,946
	期末手当		
・ 4節 共済費		6,412	5,634
	社会保険料	6,167	5,472
	雇用保険料	245	162
・ 9節 旅費		7,924	2,822
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 10 社会福祉施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

福祉センター管理運営事業

【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【 事業の内容 】

- ・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,327	45,277	40,510		4,767
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		378	348	
燃料費		5	0	
光熱水費		11,257	8,842	
維持修繕料		4,787	3,077	
12節 電信料		109	106	
熱源機器保守点検手数料		951	952	
昇降機保守点検手数料		700	700	
受水槽法定点検等手数料		1,551	1,224	
13節 総合管理業務委託料		29,389	24,585	
警備業務委託料		92	92	
自動ドア保守点検委託料		196	196	
電話設備保守点検委託料		102	102	
樹木伐採業務委託料		861	242	
受変電設備清掃業務委託料		44	44	
敷地内植栽維持管理業務委託料		187	0	
スズメバチの巣駆除作業委託料		33	0	
総合管理業務委託料(夏季対応分)		3	0	
防犯設備設置委託料		682	0	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者福祉運営事業

【

障害福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・ 障害福祉サービス計画の策定を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業を実施した。
- ・ 基幹相談支援センター事業や成年後見センター事業を実施した。
- ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援や障害者団体等への支援を行った。
- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
263,790	269,652	253,643		16,009
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	総合支援法審査会委員報酬 15人		3,936	3,494
	障害者福祉計画推進委員会委員報酬 12人		488	418
8節	障害者施設訪問歯科検診報償費		903	0
	障害福祉相談員等報償費		877	197
9節	障害支援区分認定調査員等費用弁償		130	67
11節	消耗品費		1,466	356
	備品修繕料		23	0
12節	電信料		73	63
	自立支援給付医師意見書作成手数料		2,042	1,241
	給付費等支払システム運営手数料		4,650	4,319
	成年後見市長申立手数料		224	7
	手話通訳者等保険料		23	17
13節	障害者福祉計画点字版等作成委託料		540	460
	障害者相談支援事業運営委託料		9,235	9,235
	障害者地域活動支援センター運営事業委託料 11ヶ所		199,016	194,713
	成年後見センター運営業務委託料		3,850	3,850
	精神保健福祉相談・障害者虐待防止対策支援事業委託料		4,867	0
	住宅入居支援事業委託料		40	20
	基幹相談支援センター運営委託料		21,567	21,567

	障害者福祉計画策定支援委託料	3,960	2,772
	報酬改定に伴う福祉システム改修業務委託料	0	1,713
14節	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	951	950
19節	失語症等成人中途言語障害者支援事業等負担金	509	412
	自立支援給付費等支払システム再構築負担金	991	1,321
	成年後見制度利用支援事業補助金	1,394	1,538
	地域交流等支援事業補助金	1,000	1,000
	鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	147	0
	鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	147	147
	青い麦の会運営費補助金	128	128
	鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	231	231
	鎌倉市腎友会補助金	40	40
	神奈川県障害者スポーツ振興協議会運営費補助金	30	30
	障害者地域活動支援センター・日中一時支援体制強化事業補助金	0	3,025
20節	外国籍等障害者福祉給付金	312	312

<主な特定財源>

・国県支出金	75,005
--------	--------

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者生活支援事業

【

障害福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の生活安定及び福祉の向上を図り、必要な生活支援を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当を対象者に給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,874	149,874	135,293		14,581
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節	施設等通所交通費助成費		43,355	32,897
	特別障害者手当等		41,531	41,608
	福祉手当		64,988	60,788
<主な特定財源>				
	・国県支出金			31,477

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者福祉サービス事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に必要な障害福祉サービスを提供し、日常生活及び社会生活を総合的に支援し、安心して生活を送ることができるようにするため。

効果 障害者等の日常生活の利便性の向上と、安心して社会生活を送ることができる体制の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者が障害福祉サービスを利用した場合に介護給付費等の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ 自宅の浴槽での入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ グループホーム入居者へ家賃の助成を行った。
- ・ 障害者グループホームを開設及び運営する事業者が行うバリアフリー化等の改修工事等の費用に対し、補助を行った。
- ・ 障害者総合支援法の補装具給付費支給対象外の軽・中等度の難聴の児童に対し、補聴器購入費の一部の助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,510,072	3,507,240	3,203,451		303,789
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 特別障害者手当認定審査嘱託医報酬 2人			319	318
12節 更生医療審査等手数料			106	107
13節 身体障害者訪問入浴サービス事業委託料			6,000	6,080
虐待防止緊急一時保護事業等委託料			1,076	143
19節 在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金			9,211	6,240
グループホーム運営事業補助金			6,143	4,622
グループホーム設置費補助金			7,000	1,000
グループホーム家賃助成補助金			12,480	11,135
短期入所拠点事業所配置事業補助金			1,476	1,476
重度障害者住宅設備改造費補助金			15,200	3,027
軽・中等度難聴児補聴器購入助成事業補助金			1,421	337
20節 障害福祉サービス費等			2,654,022	2,441,747
相談支援給付費等			50,422	53,631
自立支援医療等給付費			96,311	78,183
補装具給付費			32,057	29,681
高額障害福祉サービス等給付費			1,680	1,898
障害児通所給付費等			450,827	438,474
障害児相談支援給付費			12,454	13,327

移動支援等給付費	97,957	60,022
日常生活用具給付費	35,380	37,914
障害福祉サービス利用助成費	316	304
身体障害短期入所法外扶助費	458	188
県単独短期入所加算	9,676	6,375
グループホーム法外扶助費	304	607
グループホーム等運営費補助事業給付費	6,876	5,715
市外地域活動支援センター利用扶助費	900	900

<主な特定財源>

・国県支出金	2,344,012
--------	-----------

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者社会参加促進事業

【

障害福祉課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週5日窓口配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合の自動車改造費助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方からの自動車運転訓練費の助成は申請がなかった。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,841	44,068	30,067		14,001
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	手話通訳者等派遣等報償費		2,708	864
9節	手話通訳支援員費用弁償		25	14
11節	消耗品費		150	0
	福祉タクシー券等印刷製本費		316	260
	緊急通報装置維持修繕料		100	0
12節	福祉タクシー券等事務手数料		1,146	796
13節	手話通訳者派遣業務等委託料		2,284	73
19節	障害者ふれあいフェスティバル開催負担金		330	0
20節	身体障害者自動車改造費助成費		400	100
	身体障害者自動車運転訓練費助成費		100	0
	福祉タクシー利用料金等助成費		38,282	27,960
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,009

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者医療助成事業

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
639,916	639,916	546,826		93,090
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 医療助成事務用消耗品費			77	45
受診証等印刷製本費			253	30
12節 審査支払手数料			8,526	7,713
20節 医療扶助費			631,060	539,038
<主な特定財源>				
・国県支出金				116,814

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者雇用対策事業

【 障害福祉課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の雇用を促進し、多様な就労の場等を確保することで、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場等が確保される。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者雇用二千人を目指し、ハローワークとの連携や障害者二千人雇用センターを運営した。障害者就職面接会等については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。
- ・ 庁内から依頼された事務作業を行うワークステーションを運営した。
- ・ 新たに開設した就労支援事業所を支援し、障害者の多様な就労の場を確保した。
- ・ 障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・ 就労支援のための訓練等給付費を支給し、家賃助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,376	53,946	47,101		6,845
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	障害者雇用奨励金	11,700	3,853	
	障害者就労移行支援金	7,200	1,400	
	障害者二千人雇用推進協議会等報償費	404	52	
	雇用促進対策事業報償費	571	42	
	ジョブサポーター活動報償費	177	0	
11節	消耗品費	300	154	
	印刷製本費	200	0	
12節	ジョブサポーター保険料	9	7	
13節	障害者二千人雇用センター運営委託料	28,705	28,704	
	障害者就労啓発チラシ作成委託料	150	0	
	障害者農業就労体験セミナー実施委託料	660	389	
19節	障害者訓練等給付事業所家賃費助成補助金	10,800	10,500	
	障害者就労支援事業所開設補助金	2,000	2,000	
	第一次産業連携促進補助金	1,500	0	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

発達支援事業

【

発達支援室

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【 事業の内容 】

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,547	16,669	14,322		2,347
<支出内訳>		当初予算額 支出済額		
1節 嘱託医報酬				
小児神経科医師 1人		791		66
整形外科医師 1人		791		791
リハビリテーション医師 1人		1,582		1,384
発達支援委員会委員報酬 6人		248		166
8節 講演会等講師謝礼		285		50
9節 会計年度任用職員等費用弁償		177		17
11節 消耗品費		613		422
燃料費		116		34
維持修繕料		0		64
車両修繕料		145		98
医薬材料費		3		1
12節 電信料		47		102
手数料		20		20
普通傷害保険料		332		331
13節 指導用具廃棄処分委託		55		82
14節 オーディオメータリース等賃借料		499		397
19節 特別支援保育運営費補助金		12,836		10,290
27節 自動車重量税		7		7
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,814

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	171人
	言語聴覚相談	128人
	リハビリ相談	47人
発達支援指導	発達指導	61人(延323人)
	心理指導	0人(延0人)
	言語聴覚指導	89人(延827人)
	リハビリ指導	51人(延636人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	35回(延79人)
	言語聴覚相談	36回(延67人)
	リハビリ相談	10回(延29人)
母子グループ指導		26人(延65人)
障害児相談支援事業	障害児支援利用援助	226人(延373人)
	継続障害児支援利用援助	11人(延11人)

公有財産の貸付

(障害児活動支援センター:深沢こどもセンター内)

(障害児通所支援施設:由比ガ浜こどもセンター内)

事業名	実施状況	
障害児活動支援センター (放課後等デイサービス)	開所日数	293日
	登録者数	69人
	延利用者数	2,177人
障害児活動支援センター (余暇支援)	開所日数	293日
	契約者数	4人
	延利用児童数	65人
障害児通所支援施設 (児童発達支援)	開所日数	246日
	登録者数	45人
	延利用者数	2,415人
障害児通所支援施設 (放課後等デイサービス)	開所日数	301日
	契約者数	31人
	延利用児童数	1,635人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	10 園	45人

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

発達支援サポートシステム推進事業

【

発達支援室

】

※重点事業(事業CD:4-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 発達に課題を持つ子どもが適切な支援を受けることができるよう、発達障害などの理解及び対応のスキルアップを図るため。

効果 療育と教育の連携を強化し、地域における幼児期から学齢期までライフステージに応じた継続した支援を行うことで鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもと家庭への支援」の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 発達支援に関する情報共有と支援技術の向上を目指すサポーター養成講座を体系的に開催した。
- ・ 発達支援委員会等と連携し、保育現場や学校現場における講座受講者の人材活用を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,360	2,645	1,162		1,483
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	サポーター養成講座講師謝礼	480	480	
	派遣サポーター事後フォロー講座講師謝礼	60	0	
	かまくらっ子発達支援サポーター謝礼	2,250	601	
	幼稚園・保育園有償ボランティア謝礼	510	43	
11節	サポーター養成講座用消耗品費	26	24	
12節	幼稚園・保育園サポーター活動保険料	22	10	
19節	かまくらっ子発達支援サポーター・幼稚園・保育園サポーター校外学習入場料等負担金	12	4	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

地域における障害児支援体制整備事業

発達支援室

※重点事業(事業CD:4-2-1-2)

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【事業の目的】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 支援を必要とする子どもとその家族が生活する地域で、適切な支援を受け、安心して生活することができるよう、地域支援体制の整備を行うとともに、保護者支援体制の強化を図り、家族全体を支援する体制を整える。

効果 地域と関係団体等との連携を進め、地域全体で子育て家庭への支援が行われるような体制を整備することで、鎌倉市こども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもと家庭への支援」の充実を図る。

【事業の内容】

- ・ 支援を必要とする子どもが所属する集団で必要なサポートが受けられるよう、幼稚園・保育園等において発達支援の中核となる職員を「発達支援コーディネーター」として養成するための研修プログラムの検討を進めた。
- ・ 地域で相談が受けられるよう、出張相談を試行実施した。
- ・ 保護者が子どもの特性を正しく理解し、適切な関わりができるよう、家族支援プログラム「ペアレントトレーニング」の実施に向けた職員研修を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24	24	0		24
＜支出内訳＞		当初予算額 支出済額		
9節 出張相談費用弁償		24 0		

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 20 障害者施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

障害者施設管理運営事業

【 障害福祉課・発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 知的障害者、障害児等

意図 知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。
障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。
障害児通所支援事業等を行う施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。
- ・ 障害児通所支援事業等を行う施設の光熱水費を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,470	33,975	31,180		2,795
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 鎌倉はまなみ消耗品費		0	81	
障害児通所支援事業等施設光熱水費		1,069	799	
鎌倉はまなみ等設備維持修繕料		2,880	275	
13節 鎌倉はまなみ指定管理料		29,956	29,956	
鎌倉はまなみ不動産鑑定評価業務委託料		495	0	
障害者自立支援施設「鎌倉はまなみ」内樹木剪定業務委託料		0	69	
19節 鎌倉はまなみリスク分担金		70	0	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者福祉運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市高齢者保健福祉計画の進行管理及び次期計画の策定を行った。
- ・ 福祉有償運送事業に関する事務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
621	610	356		254
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会委員報酬 12人			610	356
11節 消耗品費			11	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課・介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,312	73,312	66,656		6,656

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市高齢者措置判定委員会委員報酬 4人	104	84
14節 特別養護老人ホーム(鎌倉プライエムきしろ)土地賃借料	2,093	2,093
20節 施設入所者措置費 34人	83,115	64,479

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者在宅福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・救急活動時に速やかに医療機関へ受け渡しができる救急情報シートの配布を行った。
- ・一人暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸出しを行った。
- ・寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・成年後見制度に関する相談、普及啓発、市民後見人活動支援等を行った。
- ・市民後見人の養成のための研修等を行った。
- ・低所得の高齢者に対する成年後見申立に係る費用の一部助成は、該当者がいなかったため、行わなかった。
- ・エンディングプランサポート事業の利用者に対する一定の事由が生じた場合の費用助成は、利用者がいなかったため、助成は行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,246	21,451	19,069		2,382
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民後見人活動推進のための検討会委員委員等謝礼		414	52
11節	消耗品費		39	0
	印刷製本費		1,188	0
	医薬材料費		11	0
12節	成年後見市長申立手数料		356	55
13節	緊急通報システム事業委託料		16,404	13,620
	訪問理美容サービス事業委託料		70	40
	鎌倉市成年後見センター運營業務委託料		3,850	3,850
	市民後見人養成事業委託料		1,452	1,452
19節	成年後見制度利用支援補助金		50	0
	エンディングプランサポート事業補助金		412	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,504

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課・介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【 事業の内容 】

- ・ 第2号被保険者のうち、要介護3～5の認定者又は、要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつを支給した。
- ・ 養成講座を受講したサポーターが高齢者を定期的・継続的に支援した。また、サポーターの養成及び利用希望者とのマッチングを行った。
- ・ 社会福祉法人の運営する施設等を利用する生活困難者について、負担額を軽減した社会福祉法人がなかったため、補助を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,352	5,352	5,135		217
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 紙おむつ支給事業委託料			294	212
高齢者生活支援サポートセンター事業委託料			5,033	4,923
19節 社会福祉法人利用者負担額軽減制度事業補助金			25	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者施設整備事業

【 介護保険課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 介護保険施設等の開設準備に係る補助金を交付した。
- ・ 認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)等の開設準備に係る補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
133,163	90,653	90,653		0
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
19節 特別養護老人ホーム整備費補助金			68,000	68,000
地域密着型サービス等整備助成事業補助金			42,510	0
施設開設準備経費等支援事業費補助金			22,653	22,653
＜主な特定財源＞				
・ 国県支出金				22,653
・ 地方債				65,200

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者活動運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者の社会参加や生きがいを支援し、福祉の向上を図るため。

効果 高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

【 事業の内容 】

- ・長寿のお祝いとして100歳以上及び節目の年齢を迎えた高齢者に対し、祝品を贈った。
- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない外国籍の高齢者への給付金は、対象者がいなかったため支給しなかった。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいを支援した。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,077	30,723	27,009		3,714
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	敬老祝品 100歳以上177人 米寿1,100人	1,465	1,335	
	施設訪問用花束 12施設	36	36	
11節	消耗品費	57	18	
	印刷製本費	1,242	295	
13節	高齢者入浴助成事業委託料	12,309	12,309	
	デイ銭湯事業委託料	5,418	3,830	
	いきいきサークル事業委託料	3,535	2,924	
	入浴助成券対象者名簿作成業務委託料	242	242	
	運転免許証返納者支援事業助成券回収等業務委託料	0	556	
19節	運転免許証返納者補助金	1,600	0	
	老人クラブ運営費補助金 65クラブ	4,433	4,170	
	老人クラブ連合会補助金	1,620	1,294	
20節	外国籍高齢者福祉給付金	120	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,664

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。
- ・ 事務所の運営に係る経費を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,989	35,989	35,989		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
19節	神奈川県シルバー人材センター連合会負担金	60	60
	シルバー人材センター運営費補助金	25,559	25,559
	シルバー人材センター事務所補助金	3,370	3,370
21節	シルバー人材センター運転資金貸付金	7,000	7,000

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

高齢者雇用促進事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 知識・経験豊かな高齢者の就労を通して地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者の健康と生きがいの増進及び社会参加を図るため。

効果 意欲ある高齢者の就労を支援することで、高齢者の心身の健康及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高年齢者の雇用を促進するため、相談窓口設置、合同就職説明会等を開催した。
- ・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会に対し、事業に要する経費の一部を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,700	11,700	1,849		9,851

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 生涯現役促進地域連携鎌倉協議会負担金

11,700

1,849

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

後期高齢者医療事業特別会計繰出金

【

保険年金課

】

【 事業の内容 】

- ・ 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,339,341	2,351,444	2,351,444		0

<支出内訳>

当初予算額

支出済額

28節 繰出金

2,339,341

2,351,444

<主な特定財源>

- ・ 国県支出金

277,262

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

在宅福祉サービスセンター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂在宅福祉サービスセンター及び台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,514	36,968	31,204		5,764
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 維持管理用消耗品費		125	117	
非常用予備発電装置燃料費		11	0	
光熱水費		12,206	11,454	
維持修繕料		6,079	3,224	
備品修繕料		58	0	
12節 電信料		337	287	
冷温水発生機保守点検手数料		1,129	1,129	
昇降機保守点検手数料		1,016	1,016	
清掃業務手数料		1,788	1,441	
建築設備点検等手数料		1,897	1,897	
13節 自動ドア保守点検業務委託料		148	0	
グリスラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料		104	104	
厨房送風機保守点検業務委託料		84	0	
総合管理業務委託料		11,809	10,143	
警備業務委託料		223	223	
樹木伐採業務委託料		115	0	
害虫駆除業務委託料		148	132	
受変電設備清掃業務委託料		37	37	
備品廃棄物処理委託料		200	0	

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

老人福祉センター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市老人福祉センターの指定管理者を選定した。
- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・ 各センターの施設修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
214,387	206,869	195,109		11,760
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市老人福祉センター指定管理者選定委員会委員報酬 7人		246	196
11節	消耗品費		435	0
	維持修繕料		25,280	11,617
12節	腰越なごやかセンター電信料		33	32
13節	老人福祉センター指定管理料		156,466	152,968
	腰越なごやかセンター指定管理料		30,305	29,641
	腰越なごやかセンター樹木剪定委託料		990	539
	名越やすらぎセンターアスベスト測定調査業務委託料		0	116
18節	老人福祉センター備品購入費		632	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 35 国民年金事務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

国民年金事務

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査、及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談等を行った。
- ・ 特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査等は、申請がなかったため、行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
259	259	168		91
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 国民年金事務用消耗品費			190	137
14節 電子複写機賃借料			69	31
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				168

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

児童福祉運営事業

【 こども支援課・保育課他 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市児童福祉審議会を運営した。
- ・ 鎌倉市子ども・子育て会議を運営した。
- ・ 鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう！～の推進を行った。
- ・ 子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行うとともに、新システムへのデータ移行等を実施した。
- ・ 子どもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」を運営した。
- ・ 寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,456	28,431	26,770		1,661
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 児童福祉審議会員報酬 5人			260	52
鎌倉市子ども・子育て会議委員報酬 18人			728	254
8節 卒園児記念品等			451	331
9節 児童福祉審議会委員等費用弁償			5	0
子ども・子育て会議委員等費用弁償			17	1
保健衛生嘱託員等費用弁償			348	143
11節 消耗品費			74	71
印刷製本費			314	0
備品修繕料			1	0
12節 全国市長会認可保育所・認定こども園園児賠償責任保険料			280	280
13節 子ども・子育て支援システム保守業務委託料			1,896	1,988
子ども・子育て支援システムデータ移行業務委託料			8,463	8,238
子ども・子育て支援システム端末設置業務委託料			4,264	3,369
14節 子ども・子育て支援システムサーバ機器等賃借料			1,860	258
子ども・子育て支援システム端末機器等賃借料			3,381	0
19節 鎌倉市保育会補助金			14	14
25節 遺児福祉基金積立金			13,100	11,771

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

子育て支援事業

【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
- ・ 子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。
- ・ 「かまくら冒険遊び場・梶原」を協働事業者と運営するとともに、子育て支援団体等の情報発信及び情報提供を行った。
- ・ ファミリーサポートセンター又は子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。
- ・ 保育の必要性の認定を受けた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認を受けた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,107	15,629	11,770		3,859
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	保育コンシェルジュ等謝礼		3,764	2,540
	子育て支援キャラクターイラスト作成謝礼		20	20
11節	消耗品費		180	478
	光熱水費		398	331
	維持修繕料		1,060	208
12節	電信料		136	114
	手数料		20	51
	保育コンシェルジュ等賠償責任・傷害保険料		168	148
13節	冒険遊び場機械警備等委託料		77	270
19節	冒険遊び場負担金		7,240	6,157
	子育て支援行事等補助金		204	0
	在宅子育て家庭支援事業利用料補助金		2,341	1,188
20節	幼児教育無償化扶助費(ファミリーサポートセンター)		2,499	265
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,939

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

地域子育て支援拠点事業

【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【 事業の内容 】

- ・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業及びその類似事業を指定管理等によって行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,955	35,095	32,411		2,684
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			0	287
光熱水費			1,340	1,132
子育て支援センター維持修繕料			200	117
13節 鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料			22,788	22,788
玉縄子育て支援センター指定管理料			6,433	6,432
つどいの広場事業実施委託料			2,194	1,655
<主な特定財源>				
・国県支出金				21,555

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ファミリー・サポート・センター事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,713	12,213	11,567		646
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			98	81
光熱水費			106	73
12節 電信料			373	210
ファミリーサポートセンター補償保険料			164	163
13節 ファミリーサポートセンター運営委託料			10,972	10,968
19節 負担金、補助及び交付金			0	72
<主な特定財源>				
・国県支出金				7,715

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

養育支援訪問等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。

効果 児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

【 事業の内容 】

- ・新型コロナウイルスの感染状況が拡大する中、養育面で支援が必要な児童等がいる家庭に対する見守りを強化するため、配食サービスの提供により見守りを行う支援対象児童等見守り強化事業を実施した。
- ・養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,996	6,955	1,216		5,739
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	ママのトークタイムわかば等謝礼	392	0	
9節	こどもと家庭の相談室相談員研修会等費用弁償	74	17	
11節	消耗品費	228	161	
12節	養育支援訪問事業等補償保険料	52	51	
13節	養育支援訪問事業委託料	536	106	
	支援対象児童等見守り強化事業委託料	0	881	
	子育て短期支援事業委託料	20	0	
	短期入所生活援助事業委託料	483	0	
19節	BPファシリテーター養成講座等負担金	211	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,323

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

小児医療助成事業

【

こども相談課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳～中学校3年生の入・通院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・食事療養標準負担額を除く0歳～中学校3年生の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
532,952	428,952	374,922		54,030

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 医療助成事務用消耗品費	277	227
医療証等印刷製本費	92	69
12節 審査支払等手数料	19,903	12,035
20節 医療扶助費	512,680	362,591

助成件数	月平均対象者
延 192,501件	14,755人

<主な特定財源>

・国県支出金	43,068
--------	--------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

未熟児養育医療事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した乳児(0歳児)

意図 諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 未熟児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・ 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、指定医療機関へ入院して養育を行う必要のある乳児(0歳児)に対して、諸機能を得るまでの必要な入院医療にかかる費用を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,513	6,513	5,062		1,451

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 未熟児養育医療事務用消耗品費	33	0
12節 審査支払手数料	5	2
20節 医療扶助費	6,475	5,060

助成件数	月平均対象者
延 88件	4人

<主な特定財源>

・国県支出金 3,528

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

放課後子ども総合プラン等管理運営事業

【

青少年課

※重点事業(事業CD:4-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び乳幼児等

意図 全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。
待機児童の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・全ての児童を対象とした放課後かまくらっ子事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
618,720	608,754	584,352		24,402
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放課後かまくらっ子指定管理者選定委員会 4人		208	126
8節	子どもの家外部協力者謝礼		600	100
	放課後かまくらっ子推進員等謝礼		3,378	296
	放課後かまくらっ子コーディネーター謝礼		1,290	0
	障害児対応等研修等謝礼		160	103
9節	支援員等費用弁償		545	323
11節	消耗品費		4,700	11,099
	燃料費		19	17
	光熱水費		1,920	2,110
	おさか子どもの家空調設備修繕料		1,936	1,936
	ふじづか子どもの家の子ども室床修繕料		0	527
	やまさき子どもの家カウンター修繕料		0	749
	子どもの家等各所等修繕料		13,058	7,432
	備品修繕料		30	0
	医薬材料費		110	38
12節	電信料		1,085	1,105
	消防設備等保守点検等手数料		160	325
	保険料		653	479
13節	子どもの家使用料徴収システム保守委託料		165	165
	会館廃棄物収集運搬処分委託料		356	282
	備品等廃棄物収集運搬処分委託料		132	238
	蜂駆除委託料		77	49
	おさか子どもの家草刈委託料		99	33
	機械警備委託料(おさか・うえき子どもの家)		153	152
	機械警備委託料(深沢子ども会館)		172	172
	おおふな子どもの家水栓増設委託料		286	0
	支援員採用時クレベリン検査委託料		37	0
	放課後児童支援員派遣業務委託料(通常期欠員分)		21,384	8,530

	放課後児童支援員派遣業務委託料(長期休暇分)	5,643	7,187
	放課後かまくらっ子指定管理委託料(こしごえ・にしかまくら・やまさき・いまいずみ)	125,343	118,523
	放課後かまくらっ子指定管理委託料(ふかさわ・せきや)	80,972	78,623
	放課後かまくらっ子指定管理委託料(だいいち・おなり)	78,224	76,307
	放課後かまくらっ子指定管理委託料(しちりがはま・ふじづか・おおふな)	107,872	106,268
	放課後かまくらっ子指定管理委託料(たまなわ)	11,836	10,616
	合同保育等準備業務委託料	8,250	2,651
	たまなわ子どもの家引越し業務委託料	250	188
	入退室管理システム児童情報データインポート業務委託料	22	0
	放課後かまくらっ子通信作成委託料	600	22
	おさか子どもの家境界確定委託料	145	141
	子どもの家早朝等管理等業務委託料	0	1,090
14節	やまさき子どもの家増築棟賃借料	1,589	1,560
	こしごえ子どもの家等賃借料	10,395	12,605
	おおふな子どもの家増築棟賃借料	4,864	4,245
	にしかまくら子どもの家等賃借料	21,934	21,535
	いまいずみ子どもの家等賃借料	22,208	21,804
	ふかさわ子どもの家等賃借料	30,756	30,197
	せきや子どもの家等賃借料	21,934	21,535
	たまなわ子どもの家等賃借料	11,440	9,174
	入退室管理システム等使用料	911	478
	子どもひろばタブレット端末等使用料	60	62
18節	放課後かまくらっ子初度調弁(いなむらがさき・うえき・たまなわ)	530	158
19節	旧岩瀬子ども会館及び旧西鎌倉子ども会館電気料等負担金	0	24
	放課後児童クラブ補助金	20,227	22,973
22節	子どもの家等賠償金	1	0
23節	子どもの家利用料還付金	1	0
<主な特定財源>			
	・国県支出金		191,559

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため。

効果 子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 児童手当の受給者に対し、児童1人あたり1万円の臨時給付を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	166,324	161,349		4,975

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

3節 超過勤務手当

0 251

11節 消耗品費

0 29

印刷製本費

0 137

12節 振込手数料

0 1,087

13節 特別給付金支給支援業務委託料

0 2,195

19節 特別給付金

0 157,650

支給件数

15,765人

<主な特定財源>

・国県支出金

161,349

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

放課後かまくらっ子推進事業

【

青少年課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 青少年育成

施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び中高生、大学生等

意図 放課後かまくらっ子事業を充実させるため。

効果 放課後かまくらっ子に青少年が参画することで、地域の中でキャリア教育等の機会を充実させる。

【 事業の内容 】

- ・ 青少年が放課後かまくらっ子事業に参画できる仕組みを提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,354	1,944	1,692		252
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	放課後かまくらっ子推進参与報酬 1人		1,300	1,250
8節	放課後かまくらっ子運営協議会謝礼		520	0
	放課後かまくらっ子推進部会等謝礼		534	442

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部(青少年課鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館・発達支援室発達相談担当を除く)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,237,372	1,061,473
・ 2節 給料 一般職	579,570	497,417
一般職職員 144人		
短時間勤務職員 9人		
・ 3節 職員手当等	451,171	382,061
扶養手当	10,463	10,488
地域手当	89,546	77,390
通勤手当	13,784	12,083
超過勤務手当	39,080	36,886
休日給	267	356
管理職手当	7,251	7,251
特殊勤務手当	1,162	939
期末勤勉手当	254,132	212,220
住居手当	28,477	18,094
管理職員特別勤務手当	54	4
児童手当	6,955	6,350
・ 4節 共済費	206,631	181,995
市町村職員共済組合負担金	202,258	177,850
社会保険料	4,063	3,873
雇用保険料	310	272

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

こどもみらい部のうちこども支援課・保育課・こども相談課・青少年課・発達支援室

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		540,808	429,804
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	411,696	337,610
	会計年度事務補助職員 14人		
	保育所保健衛生任用職員 4人		
	保育任用職員 20人		
	保育所栄養任用職員 1人		
	保育デイスタッフ 65人		
	保育タイムスタッフ 74人		
	調理スタッフ 10人		
	こどもと家庭の相談室相談員 4人		
	ひとり親家庭自立支援員 2人		
	放課後かまくらっ子統括責任者 5人		
	放課後かまくらっ子統括支援員 11人		
	放課後かまくらっ子支援員 55人		
	放課後かまくらっ子補助員 12人		
	放課後かまくらっ子推進事務員 10人		
	放課後かまくらっ子巡回相談員 1人		
	施設巡回等職員 1人		
	あおぞら園栄養士 1人		
	発達支援員 5人		
・ 3節 職員手当等		54,301	41,871
	期末手当		
・ 4節 共済費		40,764	39,515
	社会保険料	38,623	38,370
	雇用保険料	2,141	1,145
・ 9節 旅費		34,047	10,808
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特定教育・保育施設支援事業

【

保育課

】

※重点事業(事業CD:4-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う就学前児童

意図 市内在住の児童が通う特定教育・保育施設に対し給付を行い、施設経営の健全化を図るとともに、就学前児童の教育及び保育を行うため。

効果 特定教育・保育施設に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等を支給した。また、幼児教育無償化を実施するとともに、第2子保育料の無償化を継続し、多子世帯の負担軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,624,753	3,456,475	3,452,787		3,688
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節 施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)			188,784	126,942
施設型給付費(2、3号認定児 私立保育所委託費)			2,414,573	2,403,999
施設型給付費(1号認定児全国統一費用部分及び2、3号認定児認定こども園分)			968,548	860,211
施設型給付費(市外園児分)			48,921	58,257
法外扶助費(市外園児法外対応分)			3,927	3,378
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				2,349,496

施設名	事項名	給 付 費 (委 託 費) 支 弁 額	
		延 人 員 単 位 : 人	金 額 単 位 : 円
施 設 型 給 付 費 (1 号 認 定 児 地 方 単 独 費 用 部 分)(私 立)		4,756	126,942,629
施設型給付費(1号認定児 全国統一費用部分) (市 外 園 児 分)(私 立)		479	20,592,406
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市 内 園 児 分)(私 立)		30,380	3,264,209,981
富 士 愛 育 園		1,439	126,579,830
聖 ア ン ナ の 園		1,822	158,465,800
岩 瀬 保 育 園		1,074	115,224,210
オ ラ ン ジ ェ		649	87,662,940
清 心 保 育 園		1,165	131,657,200
こ ば と ナ ー サ リ ー		1,083	119,392,290
大 船 ひ ま わ り 保 育 園		893	137,191,030
た ん ぼ ぼ 共 同 保 育 園		841	118,117,830
梶 原 の 森 た ん ぼ ぼ 保 育 園		1,067	132,305,790
山 崎 保 育 園		1,138	119,603,520
ピ ヨ ピ ヨ 保 育 園		785	107,322,030
寺 分 保 育 園		1,239	125,462,690
プ レ ッ プ お お ぞ ら 保 育 園		537	106,205,980
保 育 園 み つ ば ち		864	102,858,680
保 育 所 の ぞ み		226	46,819,090
う ち ゅ う 保 育 園 か ま く ら		712	104,135,560
明 照 フ ラ ワ ー ガ ー デ ン 保 育 園		981	102,968,260
鎌 倉 お な り 保 育 園		586	80,339,320
佐 助 保 育 園		1,126	114,995,280
鎌 倉 浄 明 寺 雲 母 保 育 園		360	61,182,280
ま ん ま る 保 育 園		534	75,645,530
グ ロ ー バ ル キ ッ ズ 大 船 園		274	41,472,940
北 鎌 倉 保 育 園 さ と の 森		596	88,390,610
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 鎌 倉		1,784	229,419,885
認 定 こ ど も 園 ア ワ ー キ ッ ズ 大 船		1,556	131,434,577
認 定 こ ど も 園 鎌 倉 み ど り こ ど も 園		1,010	112,647,331
お お ぞ ら 幼 稚 園 園		493	117,642,997
七 里 が 浜 楓 幼 稚 園		878	101,914,843
比 企 谷 幼 稚 園		649	38,177,309
西 鎌 倉 幼 稚 園		2,185	62,078,918
大 船 カ ト リ ッ ク 幼 稚 園		702	33,814,761
鎌 倉 し ろ や ま 幼 稚 園		1,132	33,080,670
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市 外 園 児 分)(公 立)		61	4,165,034
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市 外 園 児 分)(私 立)		895	33,499,468
法 外 扶 助 費 (市 外 園 児 法 外 対 応 分)(私 立)		285	3,377,851
総 合 計		36,856	3,452,787,369

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特定地域型保育支援事業

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた家庭的保育事業者、小規模保育事業者等(地域型保育事業者)を利用する就学前児童

意図 市内在住の児童が利用している地域型保育事業者に対し給付を行い、事業運営の健全化を図るとともに、就学前児童の保育を行うため。

効果 地域型保育事業者を利用する児童の処遇向上及び事業運営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定地域型保育事業者に対し、地域型保育給付費を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
248,360	207,308	202,423		4,885
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
20節 地域型保育給付費(小規模保育事業・事業所内保育事業)		215,421	176,911	
地域型保育給付費(家庭的保育事業)		32,939	25,512	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				159,658
施設名		事項名		給付費(委託費)支弁額
				延 人 員 金 額 単 位 : 人 単 位 : 円
地域型保育給付費(市内園児分)(私立)				816 197,736,980
保育室ハピネス				214 48,435,080
てつなぐ腰越保育室				172 37,334,170
きみのまま保育園				218 47,482,440
キンダークリッペ西鎌倉				72 14,150,760
ササKids				60 24,822,930
深見保育室				20 4,852,100
育ちあいの家おなり				60 20,659,500
地域型保育給付費(市外園児分)(私立)				29 4,685,580
総 合 計				845 202,422,560

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

特別保育事業

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う児童等

意図 特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。

効果 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育園において、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施した。
- ・ 病中または病後の児童で、保育が必要な児童に対して保育を行う病児・病後児保育を実施した。
- ・ 私立保育所等が、認定された保育時間を超えて在籍児童の保育を行う、延長保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 幼稚園または認定こども園が、通常の教育時間を超えて在籍児童の保育を行う、預かり保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等が、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等を利用する保護者が施設に支払うべき実費徴収額の一部について、生活保護世帯の負担を軽減するために、減免をした施設に対して、補助金を交付する制度は、利用がなかった。
- ・ 保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,059	136,758	112,930		23,828
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	保育士派遣業務委託料		11,381	6,008
	病児・病後児保育委託料		47,650	48,070
19節	延長保育事業等補助金		47,069	19,078
	幼稚園型預かり保育補助金		11,084	11,393
	一時預かり事業補助金		23,100	21,767
	実費徴収補足給付事業補助金		63	0
20節	幼児教育無償化扶助費(預かり保育・一時預かり・病児・病後児)		17,712	6,614
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			76,226

子ども・子育て支援交付金

施設名	事項名	延長 補助 金 事業等	幼稚園 型 預かり 補助 金	一時 預かり 事業 補助 金	実費徴収 補足 給付 事業 補助 金	小計
富士愛育園		416	0	0	0	416
聖アンナの園		1,549	0	0	0	1,549
岩瀬保育園		1,546	0	2,607	0	4,153
オランジェエ		1,563	0	0	0	1,563
清心保育園		301	0	2,607	0	2,908
こばとナーサリー		1,550	0	2,997	0	4,547
大船ひまわり保育園		300	0	0	0	300
たんぽぽ共同保育園		326	0	3,213	0	3,539
梶原の森たんぽぽ保育園		300	0	0	0	300
山崎保育園		1,588	0	2,997	0	4,585
ピヨピヨ保育園		319	0	0	0	319
寺分保育園		334	0	0	0	334
プレップおおぞら保育園		338	0	0	0	338
保育園みつばち		1,565	0	2,607	0	4,172
うちゅう保育園かまくら		316	0	0	0	316
保育所のぞみ		0	0	0	0	0
明照フラワーガーデン保育園		300	0	1,742	0	2,042
鎌倉おなり保育園		301	0	0	0	301
佐助保育園		1,544	0	2,997	0	4,541
鎌倉浄明寺雲母保育園		300	0	0	0	300
まんまる保育園		301	0	0	0	301
北鎌倉保育園さとの森		320	0	0	0	320
グローバルキッズ大船園		305	0	0	0	305
認定こども園アワーキッズ鎌倉		301	3,743	0	0	4,044
認定こども園アワーキッズ大船		1,546	0	0	0	1,546
認定こども園鎌倉みどりこども園		1,549	1,036	0	0	2,585
認定こども園おおぞら幼稚園		0	1,100	0	0	1,100
認定こども園七里が浜楓幼稚園		0	0	0	0	0
西鎌倉幼稚園		0	2,501	0	0	2,501
大船カトリック幼稚園		0	849	0	0	849
比企谷幼稚園		0	1,062	0	0	1,062
鎌倉しろやま幼稚園		0	1,070	0	0	1,070
保育室ハピネス		0	0	0	0	0
てつなぐ腰越保育室		0	0	0	0	0
きみのまま保育園		0	0	0	0	0
市外		0	32	0	0	32
合計		19,078	11,393	21,767	0	52,238

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

私立保育所等助成事業

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が通う私立保育所等に対し補助を行い、施設経営の健全化を図るとともに、両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所等に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・私立保育所等に対する支援として、民間保育所特別経常費補助金及び保育緊急対策事業費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育推進特別対策事業費補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所等運営改善費補助金を交付した。
- ・届出保育施設に入所している児童の保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・私立保育所等の事業者が保育士用の宿舍を借り上げる費用の一部及び小規模保育施設との連携に要する費用の一部に対して補助金を交付した。
- ・前年度からの繰越分を含め、私立保育所等が行う新型コロナウイルス感染拡大防止に係る費用の一部に対する補助金を交付した。
- ・私立保育所等に対して、職員のキャリアアップに資する研修に参加する際の代替保育士の雇用経費の一部に対して補助金を交付した。
- ・保育の必要性の認定をうけた児童が特定子ども・子育て支援施設等の確認をうけた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
575,718	600,257	565,357		34,900
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
3節 超過勤務手当			0	390
11節 消耗品費			0	209
19節 民間保育所特別経常費補助金			11,932	11,932
保育緊急対策事業費補助金			26,321	21,210
障害児保育推進特別対策事業費補助金			25,740	23,642
民間保育所等運営改善費補助金			396,116	382,481
届出保育施設運営改善費補助金			1,473	516
保育対策総合支援事業補助金(保育士宿舍借上補助等)			74,144	63,525
保育対策総合支援事業補助金(新型コロナウイルス感染拡大防止)			0	14,681
(前年度からの繰越明許費含む)				
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金補助金			0	24,057
保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金			4,472	730
20節 幼児教育無償化扶助費(認可外)			35,520	21,984
<主な特定財源>				
・国県支出金				112,313

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

児童手当支給事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【 事業の内容 】

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。
- ・支給額 0歳から3歳未満の児童及び3歳以上小学校修了前の第3子以降の児童は、15,000円(月額)。3歳以上小学校修了前の第1、2子の児童及び中学生は、10,000円(月額)。なお、所得制限限度額以上である場合は年齢によらず一律5,000円(月額)。
- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,280,491	2,230,491	2,186,716		43,775
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 児童手当消耗品費		180	150	
児童手当印刷製本費		336	172	
13節 児童手当システム運用業務委託料		4,524	4,523	
児童手当システムデータ標準レイアウト改版対応委託料		2,207	2,207	
14節 児童手当システム機器賃借料		3,984	3,984	
20節 児童手当・特例給付		2,269,260	2,175,680	
・児童手当				
0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	1,923人分	12ヶ月	
0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	370人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	7,859人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	851人分	12ヶ月	
中学生	月額10,000円	2,752人分	12ヶ月	
・特例給付				
0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	461人分	12ヶ月	
0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	33人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	3,118人分	12ヶ月	
3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	355人分	12ヶ月	
中学生	月額5,000円	1,545人分	12ヶ月	
・児童手当(施設入所)				

0歳から3歳未満
3歳以上小学校修了前
中学生

月額15,000円
月額10,000円
月額10,000円

0人分
34人分
14人分

12ヶ月
12ヶ月
12ヶ月

<主な特定財源>

・国県支出金

1,843,229

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て家庭への支援

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・経済的な理由により、出産が困難な家庭に出産の扶助をした。
- ・母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子をともに生活支援施設に入所させて保護した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,166	10,166	7,786		2,380

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

20節 助産施設入所費

534

0

母子生活支援施設入所費

12,632

7,786

<主な特定財源>

・国県支出金

6,231

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て環境の整備

私立保育所等整備事業

【

保育課

】

※重点事業(事業CD:4-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 私立保育所等を運営する法人

意図 市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い、待機児童の解消等を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 御成町在宅福祉サービスセンター等の維持管理を行った。
- ・ 玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。
- ・ 鎌倉地域の待機児童対策として、旧横浜地方法務局鎌倉出張所庁舎及び跡地を賃借した。
- ・ 保育所の建替に係る施設整備費及び小規模保育事業所の新設に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
513,456	109,688	108,858		830
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		60	10
	光熱水費		4,061	2,240
	御成町在宅福祉サービスセンター等維持修繕料		2,000	770
12節	電信料		188	174
	御成町在宅福祉サービスセンター自家用電気工作物保守点検等 手数料		1,069	1,069
13節	御成町在宅福祉サービスセンター総合管理等業務委託料		6,755	5,193
14節	フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地土地借地料		9,019	9,019
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所土地・建物賃借料		11,320	11,399
19節	山崎保育園整備費補助金		30,186	30,186
	保育園整備費補助金(建替)		200,000	0
	保育園整備費補助金(建替)		200,000	0
	西鎌倉幼稚園小規模保育施設整備費補助金		48,798	48,798
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			66,152

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て環境の整備

拠点保育所(腰越)整備事業

【 こども支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 施設面の課題等から拠点保育所としての役割を十分に果たすことのできていない地域の拠点保育所について、民間活力を利用した機能拡充を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・平成30年度策定の拠点保育所整備方針に基づき、腰越地域の拠点保育所を、児童福祉法の「公私連携型保育所」として、民間活力を利用し整備するための準備を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,759	847	745		102
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	拠点保育所運営事業者選定委員会報酬 5人		208	0
13節	現園舎敷地地質調査業務委託料		385	0
	現園舎敷地測量業務委託料		462	450
	仮設園舎敷地地質調査業務委託料		385	0
	仮設園舎敷地測量業務委託料		319	0
	腰越保育園用地の不動産鑑定評価業務委託料		0	295

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ひとり親家庭等生活支援事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等

意図 ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の安定した生活を維持する。

【 事業の内容 】

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や、父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援としてひとり親家庭自立支援教育訓練給付金、ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けをした。
- ・遺児が中学校を卒業する際に卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
310,463	316,963	289,982		26,981
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 児童扶養手当認定医報酬 2人			30	0
8節 遺児卒業祝金			450	330
ひとり親家庭等児童大学進学支度金			3,000	3,000
9節 ひとり親家庭自立支援員費用弁償			7	0
11節 児童扶養手当消耗品費			30	17
12節 ひとり親家庭等日常生活支援事業補償保険料			26	25
13節 ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料			104	0
障害基礎年金併給対応に伴うシステム改修業務委託料			0	727
19節 鎌倉市母子寡婦福祉会補助金			35	35
ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金			900	26
20節 ひとり親家庭等家賃助成			21,060	18,369
児童扶養手当			274,909	247,807
ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金			9,700	3,894
児童扶養手当受給世帯への臨時特別給付金			0	15,750
21節 母子、寡婦及び父子福祉資金貸付金			200	0
25節 社会福祉基金利子積立金			12	2
<主な特定財源>				
・国県支出金				92,406

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ひとり親家庭等医療助成事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等の子どもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【 事業の内容 】

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前の子どもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を一定の所得制限を設けて助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,516	58,516	49,225		9,291

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 医療助成事務用消耗品費	88	25
医療証等印刷製本費	44	22
12節 審査支払手数料	1,584	1,157
20節 医療扶助費	61,800	48,021

助成件数	月平均対象者
延 17,945件	1,733人

<主な特定財源>

・国県支出金 22,785

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○子育て家庭への支援

ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等の養育者

意図 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、生活の安定と自立を支援する。

【 事業の内容 】

- ・ひとり親家庭等の養育者に、特別給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	107,983	97,875		10,108

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節	会計年度任用職員報酬 3人	0	360
9節	会計年度任用職員費用弁償	0	22
11節	消耗品費	0	56
	印刷製本費	0	35
12節	振込手数料	0	102
13節	特別給付金支給支援業務委託料	0	2,970
19節	特別給付金	0	94,330

支給件数

延 1,584人

<主な特定財源>

・国県支出金 97,875

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て家庭への支援

公立保育所管理運営事業

【 こども支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・ 公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・ 岡本保育園園舎を賃借した。
- ・ その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
358,635	329,012	307,383		21,629
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人			2,517	2,447
8節 人形劇等公演謝礼			300	0
9節 非常勤嘱託員費用弁償			84	29
11節 保育用消耗品費			5,553	13,112
印刷製本費			145	145
光熱水費			23,544	18,964
維持修繕料			14,000	9,924
深沢保育園空調機更新修繕料			5,203	4,345
大船保育園2歳児室空調機修繕料			500	500
備品修繕料			400	325
給食賄材料費			61,758	52,562
給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費			499	445
医薬材料費			90	87
12節 電信料			800	789
検便検査手数料			617	379
エレベーター保守点検等手数料			3,381	3,232
13節 処理困難備品廃棄処分委託料			150	0
清掃業務委託料			13,075	10,945
用務・軽作業業務委託料			8,993	8,611
警備委託料			1,027	940
グリストラップ清掃業務及び油汚泥収集運搬業務委託料			467	479
油汚泥処分業務委託料			107	101
布団乾燥委託料			1,345	1,004
受水槽清掃委託料			305	276
ゴキブリ駆除委託料			66	66
園庭整備等委託料			785	165

	こどもセンター高所窓清掃委託料	275	0
	空調機定期点検委託料	128	148
	第三者評価業務委託料	385	330
	遊具点検業務委託料	43	43
	給食調理業務委託料	70,950	69,956
	保育士派遣業務委託料	92,757	61,030
	由比ガ浜保育園消毒業務委託料	0	489
	岡本保育園雨水排水整備業務委託料	2,090	0
	由比ガ浜保育園駐車場舗装業務委託料	1,804	1,584
14節	低年齢児用体動モニター等賃借料	1,297	822
	岡本保育園園舎賃借料	39,248	39,248
18節	保育園用備品購入費	1,669	1,810
	給食用備品購入費	1,826	1,633
19節	日本スポーツ振興センター災害共済等負担金	447	418
22節	過少収納時補てん金	5	0

<主な特定財源>

・国県支出金	16,076
--------	--------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て家庭への支援

あおぞら園管理運営事業

発達支援室

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

【 事業の内容 】

- ・発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。
- ・あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。
- ・令和3年4月からの指定管理者への運営移行に向けて、法人との引継ぎ業務委託契約に基づき、令和2年11月より法人職員への業務引継ぎ及び療育場面への参加などを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,044	81,867	72,429		9,438
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 嘱託医報酬				
精神科医師 1人			791	791
小児科医師 1人			143	142
眼科医師 1人			69	69
耳鼻科医師 1人			69	69
歯科医師 1人			139	139
あおぞら園指定管理者選定委員会委員報酬 3人			0	64
8節 保護者向け講演会講師謝礼等			53	9
9節 苦情処理機関第三者委員費用弁償			4	0
11節 消耗品費			816	711
燃料費			116	55
印刷製本費			16	6
光熱水費			2,762	1,822
緊急小破修繕料			3,330	1,022
受変電設備改修修繕料			13,200	12,815
内装床張替え修繕料			4,771	4,730
外装床張替え修繕料			757	757
給水管修繕料			6,600	5,940
備品修繕料			0	66
車両修繕料			82	16
給食賄材料費			3,963	3,243
医薬材料費			30	27

12節	電信料	291	348
	自家用電気工作物保安管理等手数料	600	563
	普通傷害保険料	425	424
13節	保育士派遣委託料	5,423	3,826
	健康診断用健診器具滅菌業務委託料	10	10
	給食調理業務委託料	11,705	11,583
	警備業務委託料	109	109
	通園バス運行委託料	12,235	11,623
	総合施設管理業務委託料	7,484	5,716
	園庭除草業務委託料	122	99
	害虫駆除業務委託料	44	44
	指導用具処分委託料	55	72
	植木剪定業務委託料	105	99
	防犯カメラ機器の設置業務委託料	988	784
	あおぞら園指定管理者引継ぎ業務委託料	4,489	4,371
	築山土盛作業委託料	44	0
	洗濯機処分委託料	8	0
14節	コピー機賃借料等	110	101
18節	パーテーション用パネル連結セット備品購入費	1,056	129
19節	県社会福祉協議会会費負担金等	29	28
22節	児童発達支援センター事故損害賠償金	1	7

<主な特定財源>

・国県支出金	618
--------	-----

利用状況

・児童発達支援センターあおぞら園

児童発達支援 開園日数:216日 年間利用児数:28人(延3,759人)

保育所等訪問支援 年間利用児数:2人(延17人)

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て環境の整備

放課後子ども総合プラン施設整備事業

【 こども支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する小学生及び乳幼児等

意図 全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 地域等の協力を得ながら豊かな時間を提供することで、次世代を担う児童の生きる力を育む。
待機児童の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・旧鎌倉図書館を利活用した御成小学校区放課後子ども総合プラン施設の施設整備を進めた。
- ・玉縄小学校区放課後子ども総合プラン施設の施設整備を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事構造設計業務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,626	16,614	14,560		2,054
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事監理業務委託料		2,442	0
	玉縄小学校区学童保育施設整備に伴う外構整備業務委託料		2,792	2,530
	玉縄小学校防災倉庫移設業務委託料		575	494
	旧鎌倉図書館建具修復業務委託料		0	495
	(仮称)おなり子どもの家等実施設計修正業務委託料		11,935	0
	(前年度からの繰越明許費)			
	旧鎌倉図書館木材劣化調査業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	3,718
	(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事構造設計業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	6,600
14節	旧鎌倉図書館改修部材等保管倉庫賃借料		817	723
15節	(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事請負費		50,000	0

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

生活保護事務

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった際に、最低限の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,480	8,480	5,396		3,084
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 嘱託医報酬(一般・精神科) 2人		1,606	1,606	
9節 就労支援員費用弁償		24	10	
11節 消耗品費		158	118	
12節 一般診療等審査手数料		1,573	1,303	
相続財産管理人申立官報公告料等		5	6	
13節 住宅片付事業委託料		452	0	
レセプト点検事業委託料		475	230	
保護費封入委託料		132	88	
被保護者健康管理支援事業委託料		1,771	261	
生活保護システム改修業務委託料		1,499	990	
14節 生活保護等版レセプト管理システムクラウド利用料		785	784	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				2,466

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	101,591	91,144
・ 2節 給料 一般職	43,272	40,575
一般職職員 14人		
・ 3節 職員手当等	40,923	34,329
扶養手当	1,130	1,103
地域手当	6,641	6,255
通勤手当	1,771	1,198
超過勤務手当	7,731	5,062
休日給	10	0
特殊勤務手当	590	411
期末勤勉手当	18,990	17,020
住居手当	3,100	2,305
児童手当	960	975
・ 4節 共済費	17,396	16,240
市町村職員共済組合負担金		

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】
健康福祉部生活福祉課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		8,304	7,216
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	5,937	5,519
	会計年度事務補助職員 1人		
	就労支援員 1人		
	生活保護面接相談員 2人		
・ 3節 職員手当等		830	764
	期末手当		
・ 4節 共済費		937	632
	社会保険料	901	597
	雇用保険料	36	35
・ 9節 旅費		600	301
	費用弁償		

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 10 扶助費

◎健康福祉 ○多様性のある福祉サービスの充実

扶助事業

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 多様性のある福祉サービスの充実

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった際に、最低限の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,211,627	2,211,627	2,035,391		176,236
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節 生活扶助費	延 10,310 人		601,523	582,889
医療扶助費	延 10,093 人		1,142,627	997,357
教育扶助費	延 365 人		3,362	3,051
住宅扶助費	延 8,795 世帯		387,703	366,141
生業扶助費	延 119 人		3,440	2,496
出産扶助費	延 0 人		1,000	0
葬祭扶助費	延 16 人		4,071	3,737
施設事務費	延 44 人		5,900	7,036
介護扶助費	延 2,921 人		61,501	72,319
就労自立給付金	延 6 人		300	265
進学準備給付金	延 1 人		200	100
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,727,359

(款) 15 民生費 (項) 20 災害救助費 (目) 5 災害救助費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

災害救助事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して、災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【 事業の内容 】

- ・ 火災等により被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。
- ・ 異常な自然現象により被害を受けた方に対する、生活の立て直しに資するための災害援護資金の貸付けは、該当がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,135	1,135	412		723
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	災害弔慰金及び災害障害見舞金支給審査委員会報酬		42	0
8節	避難所借用謝礼		6	0
	小災害緊急一時避難所開設費用		67	112
10節	小災害見舞金		500	300
	小災害弔慰金		500	0
11節	風水害避難所開設用消耗品費		10	0
21節	災害援護資金貸付金		10	0

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

医療・保健関係団体支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 補助団体等

意図 補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・ 市民への健康啓発等を行っている団体の運営を支援するために補助金等を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,100	8,100	7,514		586
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
19節	地域医療センター維持管理費負担金	2,176	1,590	
	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部運営費等負担金	80	80	
	鎌倉市医師会運営費補助金	2,534	2,534	
	鎌倉市衛生協議会運営費補助金	1,800	1,800	
	鎌倉市歯科医師会運営費補助金	1,272	1,272	
	鎌倉市薬剤師会運営費補助金	78	78	
	鎌倉助産師会運営費補助金	71	71	
	鎌倉食品衛生協会運営費補助金	58	58	
	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会運営費補助金	31	31	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

保健衛生運営事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を推進し、市民の健康寿命の延伸を図った。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識や命の大切さについての周知啓発を図った。また、自殺対策基本法に基づき、総合的な自殺対策の展開を図った。
- ・かながわ未病改善宣言に基づき、県と協力した未病改善の取り組みを行った。
- ・骨髄・末梢血管細胞提供者(ドナー)の経済的な負担を軽減し、骨髄移植等の推進を図るため、ドナーとなった市民を対象に助成金を交付した。
- ・40歳未満の末期がんの方が住み慣れた自宅で安心して自分らしく過ごせることを目的とした、在宅サービス利用料の一部助成は、申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,556	6,120	2,544		3,576
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	健康づくり計画推進委員会委員報酬 11人		456	112
	鎌倉市自殺対策計画策定委員会委員報酬 8人		246	134
8節	地域自殺対策ゲートキーパー養成講座講師等謝礼		276	60
11節	地域自殺対策啓発用等消耗品費		802	159
	印刷製本費		109	90
	備品修繕料		83	0
	医薬材料費		36	0
12節	電信料		73	58
	筆耕翻訳料		261	0
	救急医療及び健診等保険料		919	773
13節	健康づくり計画等アンケート等業務委託料		4,800	0
	自殺対策普及啓発リーフレット作成委託料		505	219
	自殺関連検索に関する広告掲載事業委託料		207	207
	新型コロナウイルスポスター作製業務委託料		0	99
	野村総合研究所跡地産業廃棄物等収集運搬及び処理業務委託料		0	293
14節	会場借用料		13	0
19節	未病サミット参加負担金		200	200
	骨髄・末梢血管細胞提供者助成金		210	140
	若年者の在宅ターミナルケア助成金		360	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			287

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

救急医療対策事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 休日、夜間に休日夜間急患診療所で小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行った。
- ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- ・ 市民からの問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- ・ 休日昼間に歯科急患診療を行った。また、週1回、障害者歯科診療を行った。
- ・ 鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費について、補助金の申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
164,221	167,298	165,365		1,933
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	50	17	
	光熱水費	7	253	
	台在宅福祉サービスセンター所管部分修繕料	500	41	
	休日夜間急患診療所修繕料	0	923	
12節	電信料	155	140	
	外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料	1	0	
13節	休日夜間急患診療所業務委託料	47,352	46,881	
	口腔保健センター業務委託料	21,921	22,493	
	二次救急医療確保対策調整費	100	100	
	病院群輪番制業務等委託料	81,504	81,504	
	単独医療機関制業務委託料	8,659	8,659	
	救急電話音声自動対応業務委託料	264	264	
	口腔保健センター保安警備業務委託料	806	590	
	休日夜間急患診療所事前清掃業務委託料	0	227	
	休日夜間急患診療所定期清掃業務委託料	0	374	
14節	口腔保健センター設備賃借料	2,900	2,899	
19節	外国籍市民救急医療対策費補助金	2	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,905

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎子育て ○子育て家庭への支援

産科診療所支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・鎌倉市医師会立産科診療所の運営について透明性を確保するため、鎌倉市医師会が開催する、市民、学識経験者を交えた運営協議会について協力・支援した。
- ・鎌倉市医師会立産科診療所を円滑に閉鎖するために、鎌倉市医師会と協議を重ねた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
135,699	149,049	140,042		9,007
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 はじめまして赤ちゃん広場事業委託料			271	248
19節 産科診療所運営費補助金			134,995	139,438
産科医師等分娩手当補助金			433	356
<主な特定財源>				
・国県支出金				356

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】
健康福祉部市民健康課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	223,935	208,588
・ 2節 給料 一般職	103,832	97,080
一般職職員 29人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	82,522	76,035
扶養手当	1,626	1,552
地域手当	15,968	14,967
通勤手当	2,173	2,105
超過勤務手当	10,777	9,535
休日給	0	303
管理職手当	987	987
特殊勤務手当	20	19
期末勤勉手当	46,607	42,460
住居手当	3,284	3,162
児童手当	1,080	945
・ 4節 共済費	37,581	35,473
市町村職員共済組合負担金	36,547	34,907
社会保険料	979	505
雇用保険料	55	61

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

健康福祉部市民健康課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		63,684	42,244
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	55,966	37,386
	会計年度事務補助職員 1人		
	栄養指導員 2人		
	成人保健活動員 3人		
	母子保健コーディネーター 7人		
	母子保健指導員 35人		
	母子保健活動員 6人		
	母子保健事務員 3人		
	地域保健活動員 4人		
	健康づくり事務員 5人		
・ 3節 職員手当等		4,900	4,016
	期末手当		
・ 4節 共済費		576	321
	社会保険料	554	262
	雇用保険料	22	59
・ 9節 旅費		2,242	521
	費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

予防接種事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・不活化ポリオ、BCG、MR、麻しん、風しん、四種混合、二種混合、三種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌、B型肝炎、成人の風しん、ロタの予防接種及び風しん第5期の抗体検査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
478,063	618,276	505,499		112,777

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 予防接種健康被害調査委員会委員報酬	52	0
10節 予防接種健康被害見舞金	30	0
11節 消耗品費	527	455
印刷製本費	2,280	748
12節 予防接種事故賠償補償保険料	388	386
13節 予防接種業務等委託料	446,915	482,687
予防接種データ入力業務委託料	2,486	1,468
風しん抗体検査委託料	21,117	13,812
予防接種システム改修委託料	1,428	1,427
19節 予防接種健康被害救済給付等負担金	35	0
破損等ワクチン負担金	384	36
予防接種費用自己負担金補助金	2,421	4,480

予防接種ごとの接種人数

種 別	接 種 人 数	種 別	接 種 人 数
不 活 化 ポ リ オ	延 7人	イ ン フ ル エ ン ザ	34,422人
B C G	967人	子 宮 頸 が ん	延 330人
M R	延 2,188人	ヒ ブ	延 3,824人
麻 し ん	延 1人	小 児 用 肺 炎 球 菌	延 3,763人
風 し ん	延 0人	成 人 の 風 し ん	24人
三 種 混 合	延 1人	成 人 の M R	78人
四 種 混 合	延 3,932人	水 痘	延 1,957人
二 種 混 合	1,330人	高 齢 者 肺 炎 球 菌	1,808人
日 本 脳 炎	延 5,772人	B 型 肝 炎	延 2,800人
長 期 療 養	延 5人	ロ タ ウ イ ル ス	延 749人
		合 計	延 63,958人

<主な特定財源>

- ・国県支出金

90,913

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

感染症対策事業

【新型コロナウイルスワクチン接種担当】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症のまん延を防止するため。

効果 感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種の準備を行うと共に、令和3年度に接種実施するため翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	1,676,376	17,774	1,658,602	0
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	会計年度任用職員報酬(翌年度への繰越明許費)	0	0	
3節	超過勤務手当(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	管理職員特別勤務手当(翌年度への繰越明許費)	0	0	
4節	会計年度任用職員共済費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
8節	「広報かまくら」音声版作成謝礼等(翌年度への繰越明許費)	0	0	
9節	会計年度任用職員費用弁償(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	普通旅費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
11節	消耗品費(翌年度への繰越明許費)	0	598	
	印刷製本費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	光熱水費(翌年度への繰越明許費)	0	0	
12節	郵便料(翌年度への繰越明許費)	0	3	
	診療所開設手数料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	損害保険料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
13節	新型コロナウイルスワクチン接種委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	新型コロナウイルスワクチン接種予約システム構築等業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	16,253	
	集団予防接種会場運営等職員派遣委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	新型コロナウイルスワクチン接種事業システム運用業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	ワクチン配送・管理業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	予診票データ入力業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	タクシー誘導用交通整理員配置委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	駐車場車両誘導委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	医療廃棄物処理業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	浄化センター駐車場整備委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	福祉総合システム改修委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	
	冷蔵庫電源設置業務委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0	

	住基システム改修委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	民有地整備委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	集合契約審査支払委託料(翌年度への繰越明許費)	0	0
14節	新型コロナウイルスワクチン接種会場受付用機器等賃借料(翌年度への繰越明許費)	0	920
	会場使用料(翌年度への繰越明許費)	0	0
	携帯電話賃借料(翌年度への繰越明許費)	0	0
18節	保冷库購入費(翌年度への繰越明許費)	0	0
	ワクチン接種用備品購入費(翌年度への繰越明許費)	0	0
19節	タクシー助成負担金(翌年度への繰越明許費)	0	0
	指定管理者損失補填負担金(翌年度への繰越明許費)	0	0

<主な特定財源>

・国県支出金	17,774
--------	--------

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

成人保健事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進に向け、啓発を図るため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成を図り、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。また、個人及び地域で、健康づくりを継続できる環境をつくる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康増進を図るため、健康教育、健康相談等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して実施した。
- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,301	941	596		345
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	健康づくり事業等講師謝礼		200	0
9節	会計年度任用職員費用弁償		96	27
11節	保健事業用消耗品費		225	98
	医薬材料費		65	61
12節	腸内細菌培養検査手数料		8	3
13節	生活習慣改善プログラム委託料		660	407
14節	会場借用料		47	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			463

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

成人健康診査事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)
- ・ 若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・ 40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
- ・ 40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・ 20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
- ・ 後期高齢者医療保険の被保険者に後期高齢者健診、40歳以上の生活保護受給者に生活保護受給者健診を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
144,061	144,061	113,928		30,133
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		9	9	
印刷製本費		441	310	
13節 無料クーポン券肝炎検診委託料		3,401	1,469	
結核検診委託料		2,222	870	
歯周病検診委託料		1,574	1,052	
キット健診委託料		1,498	761	
肝炎検診委託料		422	298	
後期高齢者健診委託料		132,590	107,450	
生活保護受給者健診委託料		1,304	1,109	
後期高齢者検診システム改修委託料		600	600	

後期高齢者健診(早期移行者・生活保護受給者健診を含む)

受診者数	異常なし	要指導	要指導+要医療	要医療
9,991人	1,847人	4,942人	2,004人	1,198人

無料クーポン券 肝炎検診

区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C 型	229人	229人	-	0人
B 型	229人	229人	0人	-

結核検診

区 分	受診者数	要精検者数	要 医 療				未 受 診
			異常なし	他 疾 患	要 指 導	要 精 検	
胸部X線直接撮影	138人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

歯周疾患検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	異常なし	要 指 導	要 精 検
口 腔 内 検 査	217人	10人	40人	167人

キット健診(20歳代、30歳代)※国保加入者含む。

区 分	受診者数	基 準 値			要 医 療	判定不可
		軽度異常値	高度異常値	要 指 導		
血 液 検 査	452人	135人	107人	72人	74人	64人

肝炎検診

区 分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C 型	54人	54人	-	0人
B 型	54人	54人	0人	-

<主な特定財源>

・国県支出金

3,452

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

がん検診事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【 事業の内容 】

- ・大腸がん(40歳以上)、肺がん(40歳以上)、胃がん(リスク検診:40歳～49歳及び70歳以上、内視鏡:50歳～68歳の偶数年齢)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(乳房健康指導:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影:40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。
- ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)
- ・鎌倉市歯科医師会の実施する口腔がん検診に補助金を支給する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、口腔がん検診が中止になったため、補助金は支給しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
441,142	421,772	317,371		104,401
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	41	18	
	印刷製本費	2,072	1,463	
12節	がん精密検査受診結果文書作成手数料	1,421	1,045	
13節	肺がん検診委託料	154,484	120,879	
	大腸がん検診委託料	82,528	59,942	
	胃がんリスク検診等委託料	43,524	23,563	
	子宮頸がん検診委託料	46,000	34,324	
	乳がん個別検診委託料	35,345	22,280	
	乳がん集団検診委託料	1,763	968	
	前立腺がん検診委託料	24,229	24,837	
	健診結果データ集約等業務委託料	7,611	5,589	
	健診結果データ入力業務委託料	3,430	2,513	
	集団検診事務一括業務委託料	1,523	1,493	
	無料クーポン券検診(子宮頸がん、乳がん)委託料	4,295	2,043	
	無料クーポン券検診発送業務委託料	1,726	1,657	
	無料クーポン券検診結果データ集約等業務委託料	90	38	
	検診講習会費等委託料	350	178	
	胃がん内視鏡検診委託料	28,210	12,237	
	胃がん内視鏡検診システム改修委託料	2,000	1,986	
19節	乳がんマンモグラフィ集団検診及び事務一括業務に係る負担金	0	318	
	口腔がん検診事業補助金	500	0	

大腸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査		16,303人	1,522人	18人

肺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影		18,111人	409人	6人

胃がんリスク検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		4,012人	1,047人	5人

胃がん内視鏡検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		779人	80人	2人

子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		3,979人	39人	2人

乳房健康指導

区	分	受診者数
乳房健康指導		118人

乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		3,768人	213人	4人

乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		149人	13人	0人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		63人	1人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		140人	12人	0人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		32人	3人	1人

前立腺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		4,694人	518人	15人

<主な特定財源>

・国県支出金

4,908

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

健康情報システム構築・運用事業

【

市民健康課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与した。

【 事業の内容 】

- ・ 受診券発送から総合判定結果までのシステムの運用により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,066	25,066	24,454		612

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 健康診査データ管理等一括業務委託料

25,066

24,454

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

食育事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・市民の食育推進の指針となる鎌倉食育推進計画の推進、進捗管理、評価を行った。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い、市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が円滑に食育推進をするための環境づくりを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
774	300	171		129
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	鎌倉市食育推進会議委員報酬 9人	204	92	
8節	かまくら食育カレッジ講師報償費	130	0	
	食育ボランティア協力者等報償費	130	0	
11節	消耗品費	222	79	
13節	地域食育推進事業委託料	88	0	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○健康長寿社会の構築

ICT活用健康づくり事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 健康福祉
施策の方針 健康長寿社会の構築

【 事業の目的 】

対象 市民、市内企業等

意図 健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。

効果 市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・健康づくりに関するポイント制度の管理・運営をし、市民の健康づくりを推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,400	9,400	9,400		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 既存システム運用委託料

4,200 4,200

新規システム構築等委託料

5,200 5,200

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎子育て ○子育て家庭への支援

母子保健事業

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 子育て
施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康増進を図るため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に发育発達する。

【 事業の内容 】

- ・ 母子健康手帳、すくすく手帳等の交付を行った。
- ・ 妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後健診2回の助成を行った。
- ・ 家庭訪問、乳幼児健診、両親教室、育児講座、健康相談等を行った。
- ・ 思春期からライフプランを考えていけるよう普及啓発を行った。
- ・ 特定不妊治療費、不育症治療費の助成を行った。
- ・ 産後ケア事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
148,879	148,780	128,809		19,971
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	両親教室・育児講座講師等報償費		918	271
9節	会計年度任用職員費用弁償		2,934	895
11節	母子健康手帳等消耗品費		1,249	739
	すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費		1,445	950
	備品修繕料		26	0
	医薬材料費		125	124
12節	計量器検査手数料		20	14
13節	妊産婦健診等委託料		70,170	61,099
	乳児健診(4か月児、お誕生前)委託料		16,918	15,398
	幼児健診等委託料		11,717	9,001
	助産師派遣委託料		1,963	1,750
	健康診査等滅菌配送業務委託料		421	301
	妊産婦・新生児等訪問指導業務委託料		6,298	5,442
	産後ケア事業業務委託料		4,762	3,252
	妊婦歯科健診委託料		2,244	1,655
	保健師派遣業務委託料		0	5,958
14節	健診会場使用料		177	0
18節	3歳児健診視力補助検査用機器(スポットビジョンスクリーナー等)		1,075	1,007
19節	妊産婦健診補助金		5,328	3,555
	乳児健診補助金		189	182
	特定不妊治療費助成金		20,000	17,152
	不育症治療費助成金		900	64

妊産婦健康診査

区 分	受 診 者 数		区 分	受 診 者 数	
	委 託	補 助 金		委 託	補 助 金
1回目	872人	16人	10回目	741人	94人
2回目	868人	13人	11回目	698人	95人
3回目	844人	17人	12回目	605人	87人
4回目	840人	19人	13回目	462人	67人
5回目	848人	23人	14回目	315人	50人
6回目	836人	22人	15回目	558人	54人
7回目	847人	28人	15回目追加	535人	38人
8回目	821人	45人	16回目	703人	102人
9回目	785人	68人	16回目追加	647人	57人
合 計			12,825人 895人		

※追加：平成30年度から開始。エジンバラ産後うつ病質問票。

乳児健康診査

区 分	受 診 者 数
4 か 月 児 健 康 診 査	933人
お 誕 生 前 健 康 診 査	996人
合 計	1,929人

幼児健康診査

区 分	受 診 者 数
1歳6か月児健康診査	986人
2歳児歯科健康診査	329人
3 歳 児 健 康 診 査	977人
合 計	2,292人

乳幼児精密健康診査

区 分	受 診 者 数
1歳6か月児健康診査	1人
3 歳 児 健 康 診 査	14人
合 計	15人

特定不妊治療費・不育症治療費助成金

区 分	実 数	延 数
特定不妊治療費助成金	116件	184件
不育症治療費助成金	1件	1件

産後ケア事業(個別)

実人数	延日数		
	宿泊	通所	訪問
47人	107日	9日	44日

<主な特定財源>

・国県支出金

11,434

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎子育て ○子育て家庭への支援

新生児とおなかの中のあかちゃんのための特別給付金事業【

市民健康課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 新生児・胎児(おなかの中のあかちゃん)

意図 国の特別給付金給付事業の対象とならない基準日以降に出生した子やおなかの中のあかちゃんへの経済的支援を行うため。

効果 対象者を養育する保護者に対して、コロナ禍における心理面や金銭面で負担を軽減する。

【 事業の内容 】

- ・一人当たり10万円を給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	71,900	71,900		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 新生児とおなかの中のあかちゃんのための特別給付金

0 71,900

<主な特定財源>

- ・国県支出金

71,900

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

環境運営事業

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を積み立てた。
- ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
169,200	182,707	181,937		770
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			141	66
19節 全国都市清掃会議等負担金			171	171
25節 一般廃棄物処理施設建設基金新規積立金			165,703	177,703
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金			1,485	1,991
一般廃棄物処理施設建設基金寄附積立金			1,700	2,006

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

廃棄物処理施設のマネジメント事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉・深沢クリーンセンター、笛田リサイクルセンター、最終処分場等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。
- ・ごみ処理を安定的に実行していくために、名越クリーンセンター長寿命化計画に基づき、名越クリーンセンターについて必要な整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,226	44,226	43,786		440
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	生活環境整備審議会委員報酬 5人		222	116
9節	生活環境整備審議会委員費用弁償		4	0
11節	名越クリーンセンターバグフィルターろ布取替修繕料		44,000	43,670
<主な特定財源>				
	・地方債			32,700

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量対策課・環境施設課・環境センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	965,666	873,047
・ 2節 給料 一般職	401,030	391,580
一般職職員 96人		
短時間勤務職員 9人		
・ 3節 職員手当等	409,628	331,026
扶養手当	13,510	12,586
地域手当	63,459	61,886
通勤手当	11,189	10,472
超過勤務手当	31,016	32,548
休日給	30,217	24,980
管理職手当	9,442	8,455
特殊勤務手当	426	281
期末勤勉手当	234,383	166,000
住居手当	12,574	10,832
管理職員特別勤務手当	312	6
児童手当	3,100	2,980
・ 4節 共済費	155,008	150,441
市町村職員共済組合負担金	150,487	145,871
社会保険料	3,790	3,948
雇用保険料	731	622

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課・ごみ減量対策課・環境センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	75,826	59,772
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	58,201	47,200
会計年度事務補助職員 12人		
廃棄物検査・指導員 4人		
廃棄物発生抑制等啓発指導員 7人		
業務従事職員 18人		
・ 3節 職員手当等	7,913	6,448
期末手当		
・ 4節 共済費	2,496	2,739
社会保険料	2,401	2,707
雇用保険料	95	32
・ 9節 旅費	7,216	3,385
費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ収集事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・ 家庭系ごみの有料化を継続することによりごみの減量を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
705,644	700,256	689,989		10,267
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			386	373
12節 運搬料			1,285	1,017
13節 カン・ビン収集及びコンテナ配布業務委託料			132,913	132,913
燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務委託料			238,621	234,435
軽車両地区収集運搬業務委託料(4月～6月分)			2,605	2,605
植木剪定材収集運搬業務委託料			63,274	59,748
不燃ごみ収集運搬業務委託料			34,171	34,151
容器包装プラスチック収集運搬業務委託料			77,022	77,022
家庭系製品プラスチック収集運搬業務委託料			14,679	14,677
一般廃棄物収集運搬(軽車両収集分)業務委託料			26,834	25,161
一般廃棄物指定収集袋作成業務委託料			72,946	66,487
一般廃棄物指定収集袋保管配送・受注収納業務委託料			14,999	15,086
一般廃棄物指定収集袋封入・梱包業務委託料			132	0
一般廃棄物処理手数料徴収業務委託料			24,614	25,606
周知看板作成委託料			455	0
14節 クリーンステーション管理システム賃借料			708	708

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ資源化事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 資源物やごみを品目別に分別し資源化を図った。
- ・ 今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入検査機により搬入物検査を実施するとともに、事業系ごみの廃棄物発生抑制等啓発指導員を雇用し、事業者訪問等による適正排出の指導を行うことで分別徹底を図った。
- ・ 市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の処理施設において資源化し、市民に堆肥(土壌改良材)を配布した他、一部バイオマスエネルギー化を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
748,153	777,693	736,506		41,187
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	植木剪定材堆肥化事業指導協力者報奨金	1,549	1,549	
9節	普通旅費	87	0	
11節	消耗品費	1,311	287	
	燃料費	221	101	
	印刷製本費	1,220	1,195	
	光熱水費	381	227	
	植木剪定材受入事業場等維持修繕料	500	4,517	
	自走式コンベアごみ投入検査機維持修繕料	110	0	
	坂ノ下積替所維持修繕料	5,495	3,510	
12節	電信料	36	18	
	坂ノ下積替所トラックスケール定期検査料	53	53	
13節	容器包装プラスチック中間処理業務委託料	112,684	122,511	
	容器包装プラスチック等再商品化業務委託料	2,778	2,897	
	ペットボトル中間処理業務委託料	28,644	31,563	
	植木剪定材堆肥化等業務委託料	157,300	148,112	
	特定植木剪定材資源化等業務委託料	0	11,754	
	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料	185,155	185,155	
	不燃ごみ等資源化処理業務委託料(名越)	52,800	58,740	
	不燃ごみ資源化処理業務委託料(不燃残さ熔融固化処理)	48,477	43,504	
	鉄屑類等運搬売却及び持込みごみ搬送業務委託料(名越)	10,198	8,514	
	廃乾電池及び廃蛍光管資源化処理業務委託料	4,937	4,901	
	木くず資源化処理業務委託料	16,632	12,743	
	布団運搬資源化処理業務委託料	5,188	4,436	
	畳運搬資源化処理業務委託料	3,858	2,567	

	粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料	1,858	2,570
	産業廃棄物(フロンガス等)処理業務委託料	12,297	3,211
	自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	447	0
	一般廃棄物(可燃ごみ)搬送業務委託料	51,480	38,546
	使用済小型電子機器資源化業務委託料	8,247	10,238
	ビニール袋残さRPF化業務委託料	5,473	4,433
	製品プラスチック資源化処理業務委託料	14,520	17,350
	可燃残さ(容器包装プラスチック)資源化処理等業務委託料	12,540	9,639
14節	車両賃借料	1,452	1,452
	電子複写機等賃借料	225	213

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

3R推進事業

【 3R推進事業 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についてリモート会議等により審議を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、説明会、店頭キャンペーン、廃棄物減量化等推進員を対象にした会合等、燃やすごみ組成調査、ごみの発生抑制及び減量・資源化に協力する自治会・町内会に対する3R推進事業奨励金事業の実施を見送った。
- ・ 一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、ごみダイエット展を実施した。
- ・ 事業所向けの啓発事業として、パンフレットの配布、訪問指導等を行った。
- ・ 本庁舎及び小学校等に設置した大型生ごみ処理機により、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 家庭用生ごみ処理機に係る助成制度を実施し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 使い捨てプラスチックを削減するため、ウォーターサーバーを設置し、一部供用開始をしてマイボトルの普及を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,784	25,467	21,603		3,864
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 9人		460	614
8節	3R推進事業奨励金等		6,000	775
	廃棄物減量化等推進員会合等講師謝礼		100	0
9節	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償		27	0
11節	消耗品費		1,992	482
	印刷製本費		2,636	1,746
	光熱水費		225	174
	大型生ごみ処理機等維持修繕料		540	265
13節	減量・資源化啓発業務委託料		811	213
	大型生ごみ処理機保守管理業務委託料		2,020	2,020
	ホームページ管理運営業務委託料		61	61
	啓発資料作成委託料		1,690	0
	燃やすごみ組成調査業務委託料(家庭系)		4,400	0
	ごみアプリ保守管理業務委託料		1,122	1,056
	ウォーターサーバー管理等委託料		2,500	631
14節	大型生ごみ処理機賃借料		1,241	1,241
18節	啓発パネル等保管用物置購入費		415	368
19節	不用品登録協働事業費負担金		790	664

リユース食器利用費補助金	450	0
生ごみ処理機購入費補助金	9,252	11,241
事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金	1,052	52

<主な特定財源>

・国県支出金		488
--------	--	-----

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

最終処分事業

【

環境施設課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 焼却残さ全量を熔融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を行った。
- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
159,952	159,952	157,357		2,595
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	最終処分場地下水水質検査協力謝礼		60	60
9節	普通旅費		94	71
11節	消耗品費		100	97
	燃料費		4	0
	光熱水費		56	26
	最終処分場集水設備等維持修繕料		500	0
12節	最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料		1,012	495
	最終処分場精密水質検査業務手数料		550	330
	最終処分場定期水質検査業務手数料		346	105
13節	焼却残さ熔融固化処理業務委託料		154,673	153,983
	ごみ焼却残さ中の金属等の測定業務委託料		252	230
	最終処分場保有水等運搬処理委託料		253	0
16節	最終処分場用原材料費		26	0
19節	環境保全協力金		510	444
22節	最終処分場用地等営農損失補償金		1,516	1,516

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ処理広域化計画推進事業

【

環境施設課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50	50	33		17

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会消耗品費 50 33

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター管理運営事業

【 環境施設課・環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
480,896	482,178	470,308		11,870
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 薬剤等消耗品費			36,296	31,532
施設燃料費			4,878	4,197
電気料			84,693	78,693
水道料等			35,689	31,831
焼却設備等修繕料			110,209	110,209
クレーン修繕料			11,869	11,869
破碎機修繕料			11,529	11,529
トラックスケール修繕料			10,005	10,005
空気圧縮機修繕料			8,866	8,534
計装計器修繕料			5,940	5,940
排ガス分析計修繕料			3,480	3,480
その他修繕料			8,000	12,754
医薬材料費			40	40
12節 電信料			572	402
電気工作物定期点検手数料			859	859
ごみ質検査手数料			660	499
ダイオキシン類調査等手数料			1,613	1,374
13節 焼却施設維持管理業務委託料			133,188	133,188
環境調査業務委託料			4,930	4,752
クレーン点検業務委託料			952	952
作業環境調査業務委託料			699	431
定期機能検査業務委託料			499	499
警備業務委託料			472	472
排水処理施設浚渫業務委託料			429	429
洗車排水汚水槽清掃業務委託料			418	418
冷暖房機器点検業務委託料			270	270
清掃業務委託料			264	224

	樹木剪定業務委託料	118	98
	受水槽清掃点検業務委託料	102	102
	樹木伐採業務委託料	0	495
	ごみピット廃水検査業務委託料	0	110
	ごみピット廃水処理・運搬業務委託料	0	255
	ごみピット廃水処分業務委託料	0	479
	不快害虫駆除等業務委託料	152	151
14節	用地借料	1,389	1,387
	コピー機賃借料等	171	117
16節	施設補修用原材料費	300	483
19節	危険物取扱者受験準備講習会負担金	20	9
27節	汚染負荷量賦課金	1,325	1,240

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
134,917	131,966	128,251		3,715
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 施設維持等消耗品費			5,240	4,462
施設燃料費			1,466	599
電気料			13,300	9,849
水道料			1,011	1,013
クレーン補修修繕料			12,225	9,394
搬出用コンベア修繕料			13,530	11,330
金属プレス機修繕料			2,970	990
その他修繕料			5,500	12,341
医薬材料費			47	47
12節 電信料			376	340
水質検査手数料			576	433
自家用電気工作物定期点検等手数料			573	665
13節 脱臭設備等保守点検業務委託料			14,960	13,310
排水処理施設各槽清掃業務委託料			477	477
警備業務委託料			472	472
粗大ごみ等処理業務委託料			25,542	25,542
ボイラー清掃点検委託料			187	187
清掃業務委託料			275	224
浄化槽清掃業務委託料			111	111
搬出施設運転委託料			33,660	33,660
作業環境調査業務委託料			127	70
危険樹木伐採委託料			493	487
重油地下タンク点検業務等委託料			387	342
14節 トラックスケール賃借料等			311	282
16節 施設補修用原材料費			550	534
18節 備品購入費			295	852
19節 講習会等負担金			25	24

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

名越クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,528	11,138	8,035		3,103
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	収集作業用等消耗品費		1,133	1,133
	収集車両等燃料費		2,864	1,867
	印刷製本費		99	82
	事務所小破修繕料		50	0
	備品修繕料		4	0
	収集車両修繕料		7,500	4,456
12節	自賠責保険料		17	0
16節	作業用原材料費		145	92
18節	巡回用スクーター購入費		245	0
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		8	8
22節	過少収納時補てん金		1	0
	賠償金		0	102
27節	自動車重量税		462	295

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船、玉縄及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,344	6,344	5,800		544
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	収集作業用等消耗品費		817	817
	収集車両等燃料費		1,607	1,219
	印刷製本費		71	68
	事務所小破修繕料		1	0
	備品修繕料		1	0
	収集車両等修繕料		3,509	3,440
12節	安全運転記録証明書等交付料		1	1
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		5	5
22節	過少収納時補てん金		1	0
27節	自動車重量税		331	250

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

【 笹田リサイクルセンター管理運営事業 】

環境センター

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
165,704	154,308	147,684		6,624
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 資源物収集コンテナ等消耗品費		3,654	3,732	
燃料費		90	40	
給茶機用茶葉		15	13	
電気料		8,535	6,550	
都市ガス料		5,123	3,946	
水道料		1,940	1,748	
金属圧縮機修繕料		6,808	0	
コンテナ搬送装置修繕料		5,081	0	
金属圧縮機等修繕料		0	11,550	
コンテナ洗浄装置修繕料		4,648	0	
空気調和機フィルター交換修繕料		3,927	3,927	
自動選別装置修繕料		2,878	2,176	
紙圧縮梱包機修繕料		2,613	0	
FCU個別空調廻り更新修繕料		2,057	1,958	
給水加圧ポンプ取替修繕料		1,298	1,155	
その他修繕料		3,450	2,790	
電気関連修繕料		2,200	1,196	
車両修繕料		315	34	
医薬材料費		5	3	
12節 電信料		204	132	
エレベーター定期点検等手数料		1,276	1,276	
13節 資源物選別処理等業務委託料		59,136	59,136	
運転保守管理等業務委託料		29,700	29,700	
再生利用施設啓発業務委託料		4,514	3,460	
選別設備保守点検業務委託料		4,290	4,290	
空気調和設備保守点検業務委託料		3,164	2,508	
清掃業務委託料		2,474	2,324	
脱臭設備等保守点検業務委託料		2,233	1,199	

	自動倉庫保守点検業務委託料	847	847
	警備業務委託料	472	472
	植栽管理業務委託料	493	427
	屋上植栽管理業務委託料	367	158
	作業環境調査委託料	305	278
	複写機保守点検業務等委託料	303	227
14節	AED貸借料等	1,239	432
16節	選別棟維持管理部材用原材料費	50	0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

ダイオキシン類削減対策施設整備事業

【

環境施設課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 名越クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・ 名越クリーンセンター周辺環境調査(大気環境調査)を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,547	2,038	2,037		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 名越クリーンセンター周辺大気環境調査業務委託料

2,547

2,037

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

し尿収集事業

【 ごみ減量対策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,197	7,074	6,119		955

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 印刷製本費

149

19

13節 し尿収集運搬及び手数料徴収業務委託料

7,048

6,100

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,312	18,954	16,977		1,977
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節 薬剤等消耗品費			2,266	1,646
燃料費			163	83
電気料			5,467	4,045
水道料			2,839	2,020
その他修繕料			3,325	3,321
備品修繕料			18	0
車両修繕料			229	226
12節 電信料			130	110
電気工作物定期点検等手数料			648	648
13節 深沢クリーンセンター改修設計業務委託料			9,897	0
脱臭設備等保守点検業務委託料			5,665	3,036
場内樹木管理業務委託料			440	418
警備業務委託料			358	358
オーバースライダー定期点検業務等委託料			153	158
14節 複合機賃借料等			55	53
16節 施設維持管理用原材料費			139	11
19節 下水道負担金			1,468	793
27節 自動車重量税			52	51

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

公害等対策事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【 事業の内容 】

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び指導を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。
- ・「水道法」及び「小規模水道及び小規模貯水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,060	4,334	2,958		1,376
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 講師等謝礼			10	0
11節 消耗品費			300	95
印刷製本費			1	0
備品修繕料			16	0
12節 電信料			35	31
飲料水水質検査等手数料			445	49
13節 深夜花火防止巡回警備業務委託料			1,138	1,065
河川水質調査業務委託料			779	530
自動車騒音常時監視業務委託料			1,914	1,188
19節 合併処理浄化槽設置補助金			422	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				294

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

まちの美化推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 清潔で美しいまちの形成が推進される。

【 事業の内容 】

- ・不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。
- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会を実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。
- ・公衆トイレ(39箇所)の日常清掃業務等を実施した。
- ・いわゆるごみ屋敷の不良な状態の解消を図るための支援及び措置を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
86,633	72,490	63,836		8,654
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	まち美化推進協議会委員報酬 8人	204	82	
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員報酬 6人	186	124	
8節	まち美化清掃活動奨励金	1,342	1,160	
	まち美化推進員等報償費	360	200	
9節	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員等費用弁償	7	3	
11節	消耗品費	887	729	
	印刷製本費	6	0	
	光熱水費	19,100	7,974	
	維持修繕料	3,157	3,031	
12節	電信料	170	74	
	不法投棄物(家電リサイクル法適用分)処理手数料	162	70	
13節	不法投棄物処理委託料	182	145	
	路上喫煙禁止区域内喫煙場所灰皿清掃業務委託料	835	140	
	クリーンアップごみ回収処理業務委託料	172	0	
	公衆トイレ清掃業務委託料 39箇所	42,019	38,419	
	公衆トイレ臭気対策業務委託料	813	813	
	処理困難物処分業務委託料	555	132	
	路上喫煙防止業務委託料	342	342	
	路上喫煙禁止区域内喫煙所撤去業務委託料	979	979	
	いわゆるごみ屋敷対策行政代執行業務委託料	545	0	
	いわゆるごみ屋敷対策排出支援業務委託料	545	0	
	路上喫煙防止業務委託料	1,129	960	

	路上喫煙防止巡回啓発業務委託料	4,097	0
	不法投棄物運搬業務委託料	33	33
	屋内型喫煙所集塵脱臭機維持管理委託料	135	0
	屋内型喫煙所設置等業務委託料	8,140	8,030
19節	落書きのないまちづくり事業等負担金	530	396
22節	過少収納時補てん金	1	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海岸清掃事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,154	15,144	15,082		62
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 海洋ごみ処分等業務委託料			10	0
19節 公益財団法人かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金			15,144	15,082
<主な特定財源>				
・国県支出金				10,339

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

環境基本計画等推進事業

【 環境政策課・道水路管理課 】

※重点事業(事業CD:3-3-3-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を始めとする環境関連の計画を推進し、持続可能な社会の構築を目指すため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境にやさしい環境保全活動や再生可能エネルギーの導入、効率的な利用に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させ、将来にわたって循環型の持続可能な社会が実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市環境基本計画を推進するため、鎌倉市環境審議会において、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。
- ・ 地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進など環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・ 鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例に基づき、鎌倉市エネルギー計画を推進した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、環境教育イベント事業の実施を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,863	18,138	15,782		2,356
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	環境審議会委員報酬 8人		408	82
8節	環境教育の人材派遣謝礼		662	102
	専門家アドバイザー等謝礼		200	0
9節	環境審議会委員費用弁償		71	0
11節	消耗品費		150	97
	印刷製本費		138	0
	カーボン・マネジメント強化事業にかかる維持修繕料		9,600	8,425
13節	不要紙類回収運搬業務委託料		2,376	2,086
	歌碑維持管理業務委託料		1	0
	環境教育事業委託料		165	0
14節	環境教育会場使用料		77	0
19節	横浜グリーン購入ネットワーク負担金		15	15
	住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等設置費補助金		5,000	4,975

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境政策エネルギー担当)・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	129,388	117,969
・ 2節 給料 一般職	60,070	52,553
一般職職員 14人		
短時間勤務職員		
・ 3節 職員手当等	47,864	45,290
扶養手当	3,179	2,598
地域手当	9,514	8,435
通勤手当	1,505	1,059
超過勤務手当	2,570	5,341
休日給	377	58
管理職手当	987	987
特殊勤務手当	61	15
期末勤勉手当	26,514	23,957
住居手当	1,972	1,812
管理職員特別勤務手当	10	43
児童手当	1,175	985
・ 4節 共済費	21,454	20,126
市町村職員共済組合負担金	20,634	20,093
社会保険料	758	0
雇用保険料	62	33

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課・環境保全課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	16,149	14,957
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	12,087	11,455
会計年度事務補助職員 11人		
狂犬病予防注射会場受付等事務職員 3人		
犬の登録等事務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	1,611	1,426
期末手当		
・ 4節 共済費	865	1,421
社会保険料	832	1,419
雇用保険料	33	2
・ 9節 旅費	1,586	655
費用弁償		

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,101	4,352	3,114		1,238
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			2,006	685
車両等燃料費			169	39
備品修繕料			77	61
車両修繕料			568	455
16節 機材補修用原材料費			10	0
19節 <u>スズメバチの駆除費用の一部補助金</u>			4,235	1,839
27節 自動車重量税			36	35

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

動物愛護推進事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 犬・猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したが、未接種犬の飼い主への個別通知により接種を促し、接種率の維持に努めた。
- ・ 犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。
- ・ 飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,108	2,851	2,483		368
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	集合注射会場協力者等謝礼		6	0
9節	会計年度任用職員費用弁償		44	4
11節	消耗品費		442	383
	燃料費		7	1
	印刷製本費		23	0
12節	狂犬病予防集合注射用車両保険料		50	0
13節	犬の登録・注射促進協力等業務委託料		882	680
	飼い猫に対する不妊・去勢手術事務委託料		45	36
	犬の登録等管理システム保守委託料		56	55
14節	狂犬病予防集合注射用車両賃借料		116	54
19節	動物フェスティバル神奈川2020in湘南負担金		1,070	0
	湘南獣医師会補助金		150	150
	飼い猫に対する不妊・去勢手術補助金		700	682
	飼い主のいない猫対策事業補助金		360	328
	マイクロチップ装着事業補助金		150	110
22節	過少収納時補てん金		1	0
23節	過年度手数料過誤納還付金		6	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

鳥獣保護管理対策事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【 事業の内容 】

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣の捕獲及び県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,511	9,892	8,539		1,353
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			323	268
13節 有害鳥獣駆除等業務委託料			8,028	8,271
イノシシ駆除等業務委託料			160	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				2,828